

支 出 書

会 派 名	新政クラブ	整理 No. 2 - 1
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	291,610 円	
支出年月日	2022年5月2日	
支出内容	5月12日～14日（3日間）の参加費及び出張旅費 ・全国地方議会サミット2022への参加 （5/12～13日）【東京都新宿区】 ・はまぎんこども宇宙科学館への視察（5/14） 【神奈川県横浜市】	
支 出 先	別添のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

領収書添付用紙

支出書整理 No.2-1

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2022年5月2日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 八杉 光乗

¥87,020

但 5/12~13 全国地方議会サミット
2022(新宿区)及び5/14 はまぎん
こども宇宙科学館(横浜市)への
出張旅費

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 八杉 光乗

	金 額	摘 要
交通費	48,120 円	東京、神奈川
日当	9,300 円	3 日
宿泊料	29,600 円	2 泊
(合計)	87,020 円	

領 収 書

2022年5月2日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 八杉 光乗

¥87,020

但 5/12~13 全国地方議会サミット
2022(新宿区)及び5/14 はまぎん
こども宇宙科学館(横浜市)への
出張旅費

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 宮地 毅

	金 額	摘 要
交通費	48,120 円	東京、神奈川
日当	9,300 円	3 日
宿泊料	29,600 円	2 泊
(合計)	87,020 円	

領収書添付用紙

支出書整理 No.2-1

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2022年5月2日

(会派名) 新政クラブ

(代表者) 八杉 光乗

¥87,020

但 5/12~13 全国地方議会サミット
2022 (新宿区) 及び 5/14 はまぎん
こども宇宙科学館 (横浜市) への
出張旅費

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ

(名 前) 浜本 将矢



	金 額	摘要
交通費	48,120 円	東京、神奈川
日当	9,300 円	3 日
宿泊料	29,600 円	2 泊
(合計)	87,020 円	

領 収 書

新政クラブ様

¥ 30000-

但：全国地方議会サミット2022 (2022年5月12日、13日) 参加費として
領収日：2022年5月2日
No.202227801



ローカル・マニフェスト推進連絡事務局
一般社団法人マニフェスト研究会
代表理事 中村
〒162-0041
東京都新宿区早稲田鶴巻町517番地1
ドラード早稲田402
電話：03-6709-6739

ご利用明細票

お取引区分	お取引日	お取引金額
振込	04-05-02	11110595
振行番号	0169	1051-1111111111
お取引金額		¥30,000
お取引内容		
振込コード	0080	550

(お受取人) 銀行
三井住友銀行
目黒支店
普通
イツバ・ソクトク・ソネケツ マニフェストク
キ12カイ係
(ご依頼人)
ソノセイクラ様
電話番号*****
※普通預金1004

研究研修・調査報告書

会 派 名	新政クラブ	報 告 日	2022年5月20日
代 表 者	八杉 光乗 	報 告 者	八杉 光乗 
参 加 者			
	八杉光乗 宮地 毅 浜本将矢 計3名		
実 施 日	2022年5月12日(木) ~ 14日(土)		
研究研修・調査等の場所	<ul style="list-style-type: none"> ・全国地方議会サミット2022(5月12日~13日) 東京都新宿区戸塚町 早稲田大学大隈記念講堂 ・はまぎん こども宇宙科学館(5月14日) 神奈川県横浜市磯子区洋光台 		
目 的	・「全国地方議会サミット2022」への参加		
	・「はまぎん こども宇宙科学館」の視察		
研究研修・調査等の概要 □5月12日(13:00~18:00) 全国地方議会サミット2022 1. 基調講演：チーム議会で取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治 (早稲田大学名誉教授 北川正恭氏) <ul style="list-style-type: none"> ・地方議会は監視機能にとどまらず、民意の反映機関として政策提言に取り組むことが重要。 ・量的削減ではなく、質的改革に取り組むことに意義がある。 2. 特別講演：一人一人の多様な幸せを実現する デジタル庁のミッション (デジタル大臣 牧島かれん氏) <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル庁のミッション「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を」一人ひとりのために、常に目的を問い、あらゆる立場を超えて、成果への挑戦を続ける。 ・デジタル原則への適合性の点検、見直し作業、デジタルディバイド対策に取り組む。 			

3. セッション①：住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会

- ・議会改革は、第1ステージから第2ステージへ（形式改革から実質改革へ）
- ・住民自治の根幹としての議会には多様性、公開と討議、世論の形成が必要。
- ・議会に多様性があることによって総合的な政策が実現し、少数派の意見が多数派にも有用。
- ・長野市議会では、女性議員の出産に伴い、出産前8週間、出産後8週間の間は欠席できるよう会議規則を改正。また、ハラスメント防止要綱の制定について検討中。
- ・沖縄県読谷村議会では、村議会での活動日数を踏まえ、全国町村議会議長会が示した原価方式をもとに議員報酬の増額を全会一致で確認。

4. セッション②：オンライン議会の展開事例

- ・大津市議会では、新型コロナの市内クラスターが発生した危機感から、オンライン議会の実現に取り組む。オンラインによる模擬本議会、委員会条例を改正し公式オンライン委員会を実施。
- ・取手市議会では、オンラインの画面に字幕をつけたり、360度カメラによる委員会の映像配信などを実施。また、委員会条例を改正し、コロナ禍に限らず、妊娠・出産・疾病・介護・看護・育児等の事由でもオンラインによる委員会出席を可能としている。
- ・知立市議会では、コロナ禍においても、活動を止めない、議論を止めない、公開を止めない議会構築を可能とするため、議会報告会や協議調整の場、委員会視察、議員研修などでオンラインの活用を進めている。
- ・春日市議会では、コロナ禍での議会報告会を、ブレイクアウトルームを活用しオンライン（Zoom）で開催。

5. セッション③：多様な議員の一般質問を議会の政策形成へ

- ・政策資源としての一般質問は、議会で議員どうしの、市民と議会の共有資源になりうる。
- ・政策議会の資源として、一般質問はそれ自体に価値がある。
- ・北海道別海町議会では、「一般質問検討会議」を開き、議員個々の政策反映の狙いを全議員が参加した会議で共有し、質問内容について相互に助言を重ねる議員間討議を行っている。
- ・北海道鷹栖町議会では、一般質問に注目してもらうため、週刊誌の中吊り広告風のチラシを作成し、新聞折り込みで町内に配布している、これにより傍聴者は倍増した。また、傍聴者用資料として、質問内容の要約と通信簿を配布し、傍聴者にテーマ設定や聞き取りやすさ、説得力、追求力、共感度について5段階評価をしてもらい、その結果を議会報に掲載している。

□5月13日(10:00~16:00)全国地方議会サミット2022

1. 講演：コロナ2年目の経験をどう活かしていくか!?(法政大学総長 廣瀬克哉氏)

- ・2年もの期間があったのに危機管理策が前進していないとすれば、もうその組織は将来においても危機管理ができるはずはない。
- ・本当に集まれなくなったとしても議会が機能できるための準備はできているか?
→今ここにある危機を活かすことが重要である。
- ・この2年間に獲得できたことには、その議会が日頃から何を大事にしているかが反映されている。
- ・改革機会としてのいま、コロナ前にできなかったことを実現する改革と、コロナ前にはできていたことを取り戻す改革を実行すべき。

2. セッション④：地方議会における男女共同参画の推進と実践

- ・議員の多様性の確保、議員のなり手不足(議員数の確保)のためにも女性議員を増やす必要がある。
- ・地方議会に求められるものとして、○イベントの開催(女性模擬議会、議会傍聴ツアーなど)、○広報・啓発、○ハラスメント対策、○男女に開かれた議会への環境整備(妊娠・子育て中の議員への配慮など)、○議会における男女共同参画の推進に関する検討・理解の促進が挙げられる。

3. 速報！議会改革度調査ランキングとトレンド

- ・調査結果の特徴と傾向としては、新型コロナ感染対策の中での議会活動を迫られたことにより、○住民の意見を集めること(意見反映)ができない、○意見を持ち寄り話し合うこと(合意形成)ができない、○意見反映度・合意形成度の高い意思決定ができない、ことが挙げられる。
- ・しかしながら、昨年までを教訓に、議会報告会にネット動画やネットアンケートの手法を用いたり、オンライン会議を活用した住民対話など、住民と議会の間でのデジタル・オンライン化の動きが活発化した。

4. 講演：Z世代にも届く！デジタルを活用した広報・広聴

(株式会社POTETO Media 古井康介氏)

- ・Z世代の一定層は地方の政治にも興味がある。参加している人にとって満足な情報を発信しないことには始まらない。
- ・伝えたい対象が求めている情報を、SNSやツイッターなどをうまく使い発信することが重要。Z世代の言葉で語る。

5. 講演：いまこそ問われる！地方自治と議会の役割（大正大学教授 片山善博氏）

- ・国交省の統計改ざん問題について、統計が信用できないと国の政策形成が成り立たなくなってしまう。自治体も法定受託事務だから関与できないというのは認識不足。
- ・議会も自治法による議決事件の追加の規定を駆使すべき。

6. サミット宣言

- ① 2023年の統一地方選挙を含め地方議員選挙でのローカル・マニフェストや証紙ビラの進化を図る。
- ② オンラインによる常任委員会開催へ向け、条例改正を全国の地方議会へ広げる。
- ③ オンラインによる本会議開催に向け、法整備を進めるよう国へ働きかける。

□ 5月14日（13：00～15：00）はまぎん こども宇宙科学館

1. 施設概要

- ・はまぎん こども宇宙科学館は、5FからB2まで、館全体が巨大な宇宙船をイメージした体験型科学館。フロアごとにテーマの異なる5つの展示室があり、子どもから大人まで、自分でふれて体感して、楽しく遊びながら宇宙や科学のふしぎを学ぶことができる。
- ・「みつける科学館」「つなぐ科学館」「あつまる科学館」を旗印に掲げ日本一の政令指定都市「横浜」にふさわしい日本一の科学館を目指している。

2. 懇談内容

- ・1984年5月に「横浜こども科学館」として設立され、2008年ネーミングライツ制度により、愛称が「はまぎん こども宇宙科学館」となった。ほとんどの展示物は設立当時からのもので大変古いが、普遍的な法則を扱った展示であるため、飽きられることはない。
- ・同館の管理運営は、指定管理者制度により、CTC共同事業体（主には株式会社コングレ）が行っている。コングレは同館を含め、全国で5箇所の科学館を指定管理者として運営しており、それぞれの科学館が地域の特徴を活かした運営を行うなど、各館の相乗効果にもつながっている。
- ・来館者数は、指定管理以前とくらべ1.3%以上増加した。館内の環境整備・修繕や展示物の更新などもあるが、最大の要因は、スタッフだけでなくボランティアの協力によって、講座や工作教室・科学教室の回数を増やしたことである。
- ・学校との連携では、横浜市内の約300小学校のうち60校と連携して、出前科学教室を実施している。また、近隣の小学校のグラウンドを借りてペットボトルロケットの発射実験なども実施している。学童保育でのイベントも検討中である。
- ・地場産業との連携は、子どもを連れての工場見学や、企業から出た廃材を使った工作な

- どを実施している。また、サイエンスショーでは、企業から持ち込み企画などもある。
- ・収益の柱はプラネタリウムである。投影内容は90%が子ども向けのアニメーションを使ったもので、科学や宇宙に興味がない子どもをターゲットに、興味を持ってもらえるよう工夫している。
 - ・ボランティア会には、主婦や企業・元教諭など80人が登録されている。他の科学館では、ボランティアの管理が負担となることが多いが、当館はボランティアの皆さんとスタッフが共通の立ち位置や意識で行動している。ボランティアは、主に実験・工作などの段取り、教室の内容の提案など行っている。

□所感

1. 「全国地方議会サミット2022」について

今年度の全国地方議会サミットは、「多様な議員，参画，政策形成」「デジタルで広がる・つながる・深まる議会改革」をテーマに開催された。サミットでは、テーマに沿った講演や先進自治体の取組内容の報告があり、改めて現状の社会環境下における課題を認識した。

今後の議会改革を進める上で重要なことは、いま地方議会には、新型コロナウイルス感染症をはじめ多様な課題の解決に向けて、多様な意見の集約と政策への反映が求められていること。デジタルの活用においては、新型コロナにより議会機能が停止する議会もでてくるなど、緊急時の議会の存在意義が問われる状況も生まれ、委員会のオンライン開催などの機運が高まっていること。また、政治分野における男女共同参画の推進も求められるなど、議会の多様性の確保への体制整備も迫られていることである。

まさに、オンライン等のデジタル活用は、議場に参集できない場合でも議会機能の維持が可能となるばかりではなく、多様な人材による議会活動も可能となるツールでもある。

福山市議会においては、オンラインによる委員会開催の環境整備は今後の課題のひとつであり、また、男女共同参画における議会の多様性の確保にむけた体制整備の議論も始まったばかりである。

今回のサミットで聴講した内容を、今後の議会活動に意識を持って取り組んでいきたい。

2. 「はまぎん こども宇宙科学館」について

同館のコンセプトは、「子どもと自然・生き物，子どもと科学・技術との橋渡しをする存在であると同時に、大切な人生のステップを歩みつつある子どもたちと家族との絆を強める舞台でもありたい」とのことである。このことは、館内を視察する中でも感じとることができた。展示やプログラムが子どもたちにとって関心や魅力があるものが中心であり、科学館に呼び込むターゲットが明確になっている。コンセプトに基づいた構成がしっかりとできていることである。この点は、本市が進める（仮称）子ども未来館にも活かせるものであり、参考になるものであった。

支 出 書

会 派 名	新政クラブ	整理 No. 2 - 2
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	271,490円	
支出年月日	2022年 7月 15日	
支出内容	7月20日～22日(3日間) ・地方議会総合研究所セミナー(東京都豊島区)への参加費及び出張旅費	
支 出 先	別添のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	<input type="checkbox"/> 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

別紙

領収書添付用紙

支出書整理 No. 2 - 2

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2022年7月15日

(会派名) 新政クラブ

(代表者) 八杉 光乗

¥85,470

但 7月20日~22日東京都豊島区
への出張旅費

	金額	摘要
交通費	48,120円	東京都豊島区
日当	7,750円	2.5日
宿泊料	29,600円	2泊
(合計)	85,470円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ

(名 前) 八杉 光乗



領 収 書

2022年7月15日

(会派名) 新政クラブ

(代表者) 八杉 光乗

¥85,470

但 7月20日~22日東京都豊島区
への出張旅費

	金額	摘要
交通費	48,120円	東京都豊島区
日当	7,750円	2.5日
宿泊料	29,600円	2泊
(合計)	85,470円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ

(名 前) 浜本 将矢



領収書添付用紙

支出書整理 No.2-2

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領収書

2022年7月21日

福山市議会

八杉光榮 様

金額

¥25,000

但7月21日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙 号112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



領収書

2022年7月22日

福山市議会

八杉光榮 様

金額

¥25,000

但7月22日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙 号112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



領収書

2022年7月21日

福山市議会

浜本得矢 様

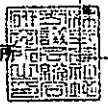
金額

¥25,000

但7月21日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙 号112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



領収書

2022年7月22日

福山市議会

浜本得矢 様

金額

¥25,000

但7月22日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙 号112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



ひろぎんキャッシュサービス

ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。

お取引区分	お取扱日	商 号	取引金額
振 込	04-07-11	151310595	
取引番号 (お取引店番)	口座番号	号	
0169	1051-*****	00	
お取引金額			¥100,000
お取引万円 五千円 二千円 千円		硬 貨	
現金内訳		* * * * *	
残 高		* * * *	
お取扱番号	コード	手数料	おつり
0195		¥550	

(お振込明細・ご案内)



(お受取人)
みずほ銀行
麹町支店
普通
か)チホウキ カイツウコウケンキユウツヨ様

(ご依頼人)
ヤスキ ミツノリ様
電話番号*****

為替通番1011

●お取引金額をご確認ください。

研究研修・調査報告書

会 派 名	新政クラブ	報 告 日	2022年7月29日
代 表 者	八杉 光乗 	報 告 者	浜本 将矢 
参 加 者	八杉光乗 浜本将矢 計2名		
実 施 日	2022年7月21日～22日		
研究研修・調査等の場所	アットビジネスセンター池袋駅前別館 (東京都豊島区東池袋1-6-4)		
目 的	地方議員総合研究所セミナー受講		
	議会力をアップさせる議員報酬・定数・政務活動費 質問・質疑による「住民自治の根幹」としての議会の充実 講師：江藤 俊昭		
	自治体の防災対策と議会・議員の役割 実例からみる防災対策における議会・議員の役割 講師：鍵屋 一		
研究研修・調査等の概要			
■ 7月21日			
□ 「議会力をアップさせる議員報酬・定数・政務活動費」 (10:00～13:00)			
(1) 議員報酬・定数・政務活動費の考え方			
○ 議員報酬は減額・停滞から増額へ (議員のなり手不足)			
民主主義にとって大事な課題、考え方を整理しておく必要がある。			
本来、議員報酬と定数は別の論理であるが、定数削減と議員報酬の増額等、セットで考える傾向があるとともに、類似団体との比較で検討される傾向がある。			
議員定数は、一度削除すれば増加は不可能に近い。			
→ 持続的民主主義のためにも、根拠がなく安易に減らす議論は問題である。			

(2) 議員報酬の考え方・原価方式とは

・報酬の算定方式として原価方式がベターである。

○成果方式：地域経済に有用な活動をした成果により算定

（課題）その方式の算定方法は確立しておらず、報酬との関連づけが困難

○類似（比較）方式：他の議会を参考とする。

（課題）あくまで参考にはなるが、報酬額の根拠にはならない。

○原価（蓄積）方式：議員の活動量と市長の活動量を比較し、その割合を基に算定。

（課題）活動量が長ければよいわけではなく中身が問われる。

その説明責任を果たさなければ、信頼されない。

(3) 議会定数の考え方

定数に関する想定できる基準は以下である。

○人口基準

従来、議員定数は人口によるものである（法定数・法定上限数）

多様性の重視を含んだ基準であるが、自治法制定時の人口基準から今日まで、大幅な定数削減となっており、議員一人に対する住民数は大幅に増加している。

○討議できる人口基準

議会力アップの視点から、議会の存在意義である討議を軸に定数を判定する基準。

□「質問・質疑による「住民自治の根幹」としての議会の充実」（14:00～17:00）

(1) 議会活動について

○ 議会活動は不要不急ではなく冷静に判断し行動できる必要緊急な活動である。

行政に対応する際には、議員が個々で対応するのではなく、議会の塊で対応する必要がある。

○ 一般質問は重要であるが、議案審査がより重要である。その際、議員同士で議論を重ね、議会や委員会として質問することは大きな力となる。

○ オンラインなどの活用は重要であるが、議会は【公開と討議】が原則である。

議員間の議会運営だけではなく、住民とのコミュニケーションを常に意識して、新たな道具としてのオンライン活用を模索する必要がある。

○ 非常事態への対応として、議会BCP策定などの体系的な制度化を行い、恒常的に見直す必要がある。

(2) 質問作成の作法

○ストーリーを構想する

○問題意識の明確化（事実認識、経過、他の自治体・国の動向等）

○質問により勝ちとる目標

○論理構成

【他市の事例】

○議会だより改革：住民が手にとって読んでもらうような改革が必要である。

岐阜県可児市→議会のとびら（わかりやすい名称変更）

北海道栗山町→住民からの声を掲載

山梨県昭和町→質問の追跡調査（質問がどのように実行されているか）

■ 7月22日

□自治体の防災対策と議会・議員の役割【基礎編】（10:00～13:00）

（1）近年の災害と予測される国難災害

○熊本豪雨：1時間で600mmの累加雨量、真夜中の避難指示

熊本県球磨村で唯一の特別養護老人ホーム「千寿園」は、避難訓練や当日対策を実施していたが、14人が犠牲になった。一方で、地域との連携などで56人が助かった。

※その他、全国的な災害における被害状況が報告された。

（2）社会の脆弱性と正常化の偏見

○進み続ける高齢化：75歳以上は25年で2.6倍

○激増する高齢単身世帯：25年で3.2倍

○障がい者：25年で約62.5%増

○近所づきあいの低下、町内会自治会活動への参加の低下

○減り続ける消防団員数

○公助の限界：自治体職員は25年で16.5%減

※大災害は忘れたところにやってくる。（過去の歴史）

命を守ることを最優先とした対策が必要であるが、自分にとって都合の悪い情報を無視、さらには、過少評価してしまう人間の特性である「正常化の偏見」にどのように対策するかが重要である。

○過去の経験において、残念ながら、障がい者にとって地域の助け合いは重要であるものの、必ずしもうまく行われていないと感じている。

（3）災害時「議会」がすべきこと（被災経験を踏まえ）

○災害時の議会・議員活動方針策定

災害発生直後のミッションを議員間で共有すること。

○情報の一元化

議会事務局への情報一元化は効果的であった。

○行政に負担をかけない議会運営 等

議員の要望が多ければ、行政の対応能力を超えてしまう。

(4) 災害時、「議会がしてはならないこと」

- 行政に負担をかける議会運営（資料請求、長時間の運営）
- 応急対策への批判的質疑
- 災害直後の議会開催

□自治体の防災対策と議会・議員の役割【発展編】（14:00～17:00）

(1) 地域防災計画とは

地方防災会議が定めるもので、市町村・公共団体・重要施設管理者の処理すべき事務又は業務の大綱である。

(2) 防災基本条例は何を目指すのか

- 住民・自治体が、災害から住民の命を守る覚悟を条例で明らかにすることが必要。
- 住民、自治体が防災の重要政策を見える化して共有する。
- 条例作成過程への住民参加により、自助・共助の重要性を明らかにし、住民自身が防災の担い手となる必要がある。

(3) 地域防災の重要政策とは

- 災害後に命を守る
 - ・地震は耐震化と家具転倒防止
 - ・水害は早期避難、特に高齢者等
 - ・避難生活での災害関連死防止
- 命を守る知識、技能、態度
 - ・正常化の偏見を打ち破る
 - ・同調性バイアスでみんなを巻き込む

(4) 災害時にトップがなすべきこと

- 大規模災害発生時の意思決定の困難さは想像を絶する。
平時の訓練と備えがなければ、危機への対処はほとんど失敗する。
- 日常から住民と対話し、危機時の意思決定について、あらかじめ伝え、理解を得ておく。
- 市区町村長の責任は重いが、意思決定を体系的・専門的に支援する仕組みは整っていない。

□全体感想

1. 「議会力をアップさせる議員報酬・定数・政務活動費」

議員報酬・定数・政務活動費の設定根拠が明確化されていないことは問題と感じている。議員のなり手不足は、選挙の有無だけの問題ではなく、住民自治にとっても大きな問題であり、政治への関心低下を含め、その解消策は喫緊の課題である。

議員定数においても、多様性のある政治や共生社会の実現にむけた視点を重視しながら、持続的民主主義を確立できることを前提とした定数議論が必要であると感じた。

2. 質問・質疑による「住民自治の根幹」としての議会の充実

政策実現のためには、個々の議員がそれぞれ要望をするだけでは乗り越えられないこともあるため、議会として対応することが大きな力となる。

会派を超えた連携も場合によって必要であると感じた。また、質問にあたっては、住民との事前の意見交換会や情報共有、事後の検討会や追跡調査等、政策サイクルを充実させることが重要であることから、今後の参考としたい。

3. 自治体の防災対策と議会・議員の役割

応急対策期において、行政と議会・議員は一体となり、力を合わせ応急対策期を乗り越えることが必要である。

福山市においても、30年の間で約80%の確率で発生すると想定される南海トラフ地震に備え、正常化の偏見の特性を訓練や教育等で排除し、有事において逃げ遅れの無い体制や環境を早急に講じておくことが必要であることを、他市の事例や過去の災害教訓に触れることで改めて強く感じた。加えて、災害直後は、公助は機能せず、自助と共助で命を守ることの必要性、障がい者や高齢者などは特に地域の支援が不可欠であることは、過去の災害が物語っているため、その教訓を様々な場面で周知していくことが必要である。

以上

支 出 書

会 派 名	新政クラブ	整理 No. 2 - 3
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	386,460円	
支出年月日	2022年 7月 25日	
支出内容	7月27日～29日（3日間）の参加費及び出張旅費 ・地方議会研究会セミナーへの参加（7/27～28日） 【福岡市博多区】 ・福岡市民防災センターへの視察（7/29） 【福岡市早良区】	
支 出 先	別添のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2022年7月25日

(会派名) 新政クラブ

(代表者) 八杉 光乗

¥68,820

但...7/27~28 地方議会研究会セミナー
 ... (博多区) 及び 7/29 福岡市民防災セン
 ター (早良区) への出張旅費

	金 額	摘要
交通費	29,920 円	福岡市博多区
日当	9,300 円	3.0 日
宿泊料	29,600 円	2 泊
(合計)	68,820 円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ

(名 前) 八杉 光乗



領 収 書

2022年7月25日

(会派名) 新政クラブ

(代表者) 八杉 光乗

¥68,820

但...7/27~28 地方議会研究会セミナー
 ... (博多区) 及び 7/29 福岡市民防災セン
 ター (早良区) への出張旅費

	金 額	摘要
交通費	29,920 円	福岡市博多区
日当	9,300 円	3.0 日
宿泊料	29,600 円	2 泊
(合計)	68,820 円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ

(名 前) 宮地 毅



領収書添付用紙

支出書整理 No. 2 - 3

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2022年7月25日

(会派名) 新政クラブ

(代表者) 八杉 光乗

¥68,820

但 7/27~28 地方議会研究会セミナー
(博多区) 及び 7/29 福岡市民防災セン
ター (早良区) への出張旅費

	金額	摘要
交通費	29,920 円	福岡市博多区
日当	9,300 円	3.0 日
宿泊料	29,600 円	2 泊
(合計)	68,820 円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ

(名 前) 浜本 将矢



領収証 2022年7月27日

八杉光乗 様

★ ¥60,000

但 7/27,28 アフターコロナ時代の取組を軸とする夏期の仕方

研学会受領代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会
 〒530-0001
 大阪府大阪市北区
 大阪駅前第2ビル
 TEL 050-6868-1111



領収証 2022年7月27日

浜本将矢 様

★ ¥60,000

但 7/27,28 アフターコロナ時代の取組を軸とする夏期の仕方

研学会受領代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会
 〒530-0001
 大阪府大阪市北区
 大阪駅前第2ビル
 TEL 050-6868-1111



領収証 2022年7月27日

宮地敏 様

★ ¥60,000

但 7/27,28 アフターコロナ時代の取組を軸とする夏期の仕方

研学会受領代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会
 〒530-0001
 大阪府大阪市北区
 大阪駅前第2ビル
 TEL 050-6868-1111



研究研修・調査報告書

会 派 名	新政クラブ	報 告 日	2022年8月5日
代 表 者	八杉 光乗 (印)	報 告 者	八杉 光乗 (印)
参 加 者			
	八杉光乗 宮地 毅 浜本将矢 計3名		
実 施 日	2022年7月27日(水) ~ 29日(金)		
研究研修・調査等の場所	<ul style="list-style-type: none"> ・地方議員研究会セミナー(7月27日~28日) 福岡県福岡市博多区博多駅東 リファレンス駅東ビル ・福岡市民防災センター(7月29日) 福岡県福岡市早良区百道浜 		
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・「地方議員研究会セミナー」の受講 		
	アフターコロナ時代の役所を動かす質問のしかた 講師：川本達志氏		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「福岡市市民防災センター」の視察 		
<p>研究研修・調査等の概要</p> <p>□7月27日(10:00~16:30) 地方議員研究会セミナー</p> <p>1. あなたの知らない議会のチカラ</p> <p>① 議員力とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価する力(事業の必要性と成果) ・財政を見通す力(持続可能な財政運営) ・市民の声から政策課題を引き出す力(課題発見・設定→一般質問など) ・制度を知り制度の限界を知る力(制度は手段、時代の変遷と課題の変質) ・人の力を借りる力(民主主義は多数決) <p>② 議会と執行部の関係</p> <p>執行部が恐れる議会の権限</p> <ul style="list-style-type: none"> ・招集請求権(議長、または議員の定数の4分の1以上の者は、臨時会の招集を請求で 			

きる)

- ・議決権（法定議決（条例・予算・決算）、任意議決）
- ・調査権（普通地方公共団体の事務に関する調査を行うことができる）
- ・提案権（議員（定数の1/2分の1の賛成）、委員会は議会に議案を提出することができる）
- ・予算への関与（議会は予算について増額してこれを議決することを妨げない）

③ 二元代表制の本来の在り方を目指して

- ・議会が機関としての政策的意思を持つ

議会は・・・

- ・議員提案も委員会提案もできる、予算修正もできる、調査もできる、専門家の意見も聴取できる

しかし、これらは議会の機関としての機能であるので、議会としての意思がまとまれば、執行部は無視できない

- ・議会が政策をリードできる
 - ・それは、議会としても政策執行の結果には責任を持つということ
- 議会がチカラを付けるとは、「議会のチカラ」＝意思集約力・決定力

2. 大学の先生ではわからない実務的な質問の仕方

- ・いい質問とは・・・住民全体の福祉の増進に関して成果を出すこと

① 一般質問における成果とは

- ・市民への明確な情報提供（共有）
- ・隠れていた重要な課題が見える化（理解）
- ・課題解決のための政策を提案し実現（実現）

② 質問で何を求めるか

- ・定例会の本会議において、議員が1人の議員として、執行部の政策、施策の在り方の問題点を問い質し、必要な場合は具体的な施策を提案し実行を要請するもの
- ・議会活動の主要なもので、議員活動の中でも最重要の活動
- ・政策を執行部のマネジメントサイクルに乗せる一つの大きな機会
- ・インターネットで放送されることなどから、より綿密な準備の下に、最良のパフォーマンスが求められる

③ 成果を出す一般質問の準備

- ・現場調査（重要度◎）住民との対話、客観的事実の調査と提示
議員の強みを活かす
より多くの住民の意見を集め、分類しまとめる
徹底した現場調査や聞き取りが役所を動かす動機付けとなる

- ・あるべき姿の設定（重要度○）ギャップの発見＝問題
- ・課題の設定（重要度◎）問題を解決するためにすべきこと
- ・仮説（政策）の選択（重要度○）具体的な解決策の選択
- ・検証による修正（重要度△）住民、専門家、執行部との対話 先進自治体の取り組み）

④ 現状認識と課題認識の重要性

・現状認識

政策づくりや制度づくりの大前提として当然、問題をはらんだ事実がある
事実（現状認識）の共有が執行部との間でできなければ、解決に向けて進まない

・課題認識

事実（現状認識）を前提として、すべきことを探り課題の要素を抽出する
この際、視点、価値観の違いによって課題の捉え方が違ってくる
この違いを乗り越えて課題認識への共感があって初めて役所は動く

⑤ 一般質問と政策実現の関係

- ・一般質問だけが政策実現のルートではないが、いかに契機とするか
- ・一度の一般質問のみによって政策を実現できるということは少ない、いかに少しずつでも動かすか
- ・一般質問で役所が動かない場合でも、市民への情報提供の大きな手段であり、市民の意思醸成に力を発揮することも

⑥ 質問の3つのタイプ

・自己主張型（ニュートラル 反対派）

政治的課題についての自らの立場と意見を表明することを目的とする
議事録または議員広報に載せることが重要

・課題・責任追求型（反対派）

政治的課題について責任を追求し、政治的イニシアチブを握ることを目的とする

・政策提案型（支援派・反対派・ニュートラル）

住民にニーズのある課題について、解決のための施策・事業を提案し、執行部に予算化・条例化させることを目的とする

□7月28日（10：00～16：30）地方議員研究会セミナー

1. 私がうなった質問はこれだ

① 現状認識（共有）・・・数字を付ける、そして、物語ストーリーを

- ・議員が知る課題は概ね執行部も認識しているが、そこには具体性がないことが多い
- ・その認識を具体的な現実（エビデンス）として改めて示すこと
- ・担当者が議員より良く知っている場合もあるので、事前の質問聞き取り等の際に逆取材することも有効（逆取材情報を基にさらに現場を調査）
- ・関係者が不知の情報の指摘はイニシアチブを握る材料になるが、それだけ情報の正確

さを担保すること（情報源）が重要

現場を見て質問することの重要性

執行部は机上で制度のみを見て判断していることがある、そのため議員は、

- ・自分の政策テーマに身近な住民の困りごとをできるだけ多く聞く
- ・優先して対応すべき現状を明確にする（政治的価値観で異なる）
- ・やるべきことは、財源を絞り出す方策を提案しながら対策を提案する

② 課題認識（共感）・・・テーマは続ける！

- ・問題発見能力をみがく
- ・問題発見能力は日頃の問題意識と学習

問題発見とは、現状の制度（ルール）では解決できていないということを発見することであるから、現状の制度（ルール）を知らなければ問題発見はできない

- ・正確な現状認識から現制度や地域事情を踏まえた問題意識があれば共感を獲得できる
- ・1回の質問では成果は出ない（テーマは一貫して深掘りしていく）

③ 仮説・・・こうしたら解決するのでは

- ・簡単な言葉で、論理的に、創造的に魅力的に、実現可能性を
- ・質問はプレゼンテーション、共感と気づきがなければ人は動かない
- ・他団体の受け売りは仮説にならない、主体的に考える、他団体の事例は検証に使う

④ 検証・・・理解・納得を生むプロセス

- ・当事者や住民の意見を聞く（議員の強みを生かす）
- ・他団体の成功事例を参照する（他団体の紹介は短く要点を押さえて）
- ・専門家の意見を聞く（質問で紹介する）

⑤ 提案・・・財源を示せ！

- ・仮説が効果があること（検証）を前提に、わが自治体の事情に合わせて具体的な政策に落とし込むのが提案→必要な事業費を示し財源を示す

⑥ いい質問の絶対要件

- ・現場認識が正確で共有できる
- ・課題認識が時宜を得て共感できる
- ・仮説（提案）が十分検証されている

⑦ 実際に役所が動いた質問

- ・住民の意見を多数集約（意見交換会を質問後に開催）
- ・既存制度を理解（役所で調査）して、制度と現実が生んでいる課題の齟齬を明確化
- ・解決策（仮説）を住民と調整
- ・質問を複数回に渡って進める
- ・役所と事前の調整

⑧ 課題・責任追求型の質問（批判的立場）

- ・「課題・責任追求型質問」では、現状認識の正確さが不可欠

- ・議員の拾い上げた生の事実で、執行部が不知の事実が質問・答弁のやりとりのイニシアチブを握るのに有効
- ・その上で、執行部の課題認識や仮説の矛盾を突く
課題認識の前提事実や仮説が否定されれば、政策は進めることができない

2. 元副市長が考える財政関連質問のポイント

① 財政関連質問の視点

- ・持続可能な財政状況にあるか（財政の健全性）
- ・事業の成果は上がっているか、改善すべきことはないか（施策の効果と改善）
- ・違法不当な収入・支出はないか（財務・財産管理、会計処理の適正性）

② レジリエントな自治体経営が求められる

- ・中長期的な自治体財政を常に見通し、予測できる未来を想定して今を考える
- ・そのためには、中長期の自前の資源（金と人員）の動向を、財政計画と定員計画で執行部と共有することが不可欠
- ・その上で、財政調整基金の残高目標や危機管理体制の構築（BCP）を議論すべき
- ・平時と危機時の両方に、意思決定・執行体制ともにスピードと論理性の両方が求められる

□7月29日（10：00～12：00）福岡市民防災センター

1. 施設概要

福岡市民防災センターは、いろいろな災害の模擬体験を通して、もしものときの防災に関する知識や対処法などを身に付ける施設となっている。

2. 館内視察・懇談内容

- ・災害の模擬体験・訓練
VR防災体験（火災・地震・風水害）、強風体験、地震体験、消火訓練、火災体験、水害体験、レッスン119・171
- ・防災知識を醸成する展示や映像
消防ヘリコプターの見学・試乗、市内の防災パノラマ、西方沖地震の記録コーナー、水害・地震対策コーナー、姉妹都市等の消防コーナー
- ・教育・訓練施設
館内には、講習室（200人対応）や研修室（30人対応）が備わっており、救急訓練や各種防災研修や防災教育講習が可能となっている。
- ・消防出前講習
消防職員が地域に直接出向いて防災や救急についての講話を行っているほか、避難訓練の立ち合いなども実施している。

口所感

1. 「地方議員研究会セミナー」について

今回のセミナーは、「アフターコロナ時代の役所を動かす質問のしかた」と題して、一般質問の重要性について学ぶことができた。

一般質問は成果を出してこそ意味があり、質問によって役所を動かさなければならない。そのためには、答弁者の側から質問の「しかた」を考えることが重要であり、役所の基本的な思考プロセスを理解して質問することが、役所を動かす近道になるとのことであった。

また、講師である川本氏は著書の中で、議員は議会改革の陰に隠れて、自らの質問力を向上させる努力を怠っていないか。このまま議員の活動が住民に見えなくなると、住民はますます地方議員に対する不信感を募らせ、「議会不要」の声が高まる。議員個人が役所を動かすような議会活動をしなければ、議員も生き残れない時代になってきている、と指摘されている。

議員である私たちが実践しなければならないことは、住民の暮らしの現実と課題を把握し、そして、住民としっかりコミュニケーションを取り、住民の意思を議会の場で一般質問というツールを使い、見える形で具体化することである。このような活動を行っていけば、これまで以上に議員に対する住民の評価と、議会に対する関心が高まっていくことにつながる。

私自身議員になって7年が経過するが、この度のセミナーを受講して、改めて一般質問の重要性を再認識することができた。一般質問を有効に使うことで、地域住民にとって不可欠な存在になれるよう努力していきたい。

2. 「福岡市民防災センター」について

近年、頻発する地震や地球温暖化による豪雨災害などが相次ぐ中、防災・減災対策は、自治体の取り組みの中でも重要なウエイトをしめている。

行政による防災・減災のインフラ整備は勿論必要だが、市民が実際にさまざまな災害の模擬体験などを通じて災害の怖さを体感すること、また、防災に対する知識・技術・行動力を身に付けること、こうした取組も重要になってくる。

そういった意味では、防災センターのような施設の果たす役割は非常に大きいものがあるといえる。

現在、福山市には、災害の怖さを体験できる防災センターなどの施設はないが、地震体験車などを活用して市民の防災意識の高揚を図っている自治体もあると聞く。

是非、そういったことも提案していきたい。

支 出 書

会 派 名	新政クラブ	整理 No. 2 - 4
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 2 <input checked="" type="checkbox"/> 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	355,870円	
支出年月日	2022年10月3日	
支出内容	10月11日～14日(4日間)の参加費及び出張旅費 ・博多まちづくり推進協議会への視察 (10/11)【福岡市】 ・第84回全国都市問題会議・行政視察 (10/13～14日)【長崎市】	
支 出 先	別添のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2022年10月3日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 八杉 光乗

¥98,540

但 10/11 博多まちづくり推進協議会
 視察(福岡市)及び10/13~14 第
 84回全国都市問題会議・行政視察
 (長崎市)への出張旅費

	金額	摘要
交通費	41,740円	福岡市、長崎市
日当	12,400円	4日
宿泊料	44,400円	3泊
(合計)	98,540円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 八杉 光乗

領 収 書

2022年10月3日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 宮地 毅

¥98,540

但 10/11 博多まちづくり推進協議会
 視察(福岡市)及び10/13~14 第
 84回全国都市問題会議・行政視察
 (長崎市)への出張旅費

	金額	摘要
交通費	41,740円	福岡市、長崎市
日当	12,400円	4日
宿泊料	44,400円	3泊
(合計)	98,540円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 宮地 毅

領収書添付用紙

支出書整理 No.2 - 4

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2022年10月3日

(会派名) 新政クラブ

(代表者) 浜本 将矢

¥98,540

但 10/11 博多まちづくり推進協議会
視察(福岡市)及び10/13~14 第
84回全国都市問題会議・行政視察
(長崎市)への出張旅費

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ

(名 前) 浜本 将矢



	金額	摘要
交通費	41,740円	福岡市、長崎市
日当	12,400円	4日
宿泊料	44,400円	3泊
(合計)	98,540円	



UFJ銀行キャッシュサービス
ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。

お取引区分 | 振込 | 04-09-09165010595
銀行番号 | 0169 | 口座番号 | 1051-***** | 00
お取引金額 | ¥59,700
お取引 | 万円 | 五千円 | 二千円 | 千円 | 円 | 銭
現金内訳 | * | * | * | * | * | *
残高 | * | * | *
お振替番号 | コード | 手数料 | 当分 | 備考
0210 | ¥550
(お振込明細・ご案内)

(お受取人)
みずほ銀行
〒[]
普通
カ)JT B様
(ご依頼人)
カ)セイクラ様
電話番号 *****
為替通番1009

請求明細

再発行



請求書発行日: 2022年09月01日
2 / 2

請求額合計 59,700円 (税込)

申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	消費税
2022年08月04日	参加費 八杉 光義 様(申込者)	10,000円	1	10,000円	10%
2022年08月04日	参加費 宮地 雄輝(八杉 光義 様同席者)	10,000円	1	10,000円	10%
2022年08月04日	参加費 浜本 将矢 様(八杉 光義 様同席者)	10,000円	1	10,000円	10%
2022年08月04日	2022年10月14日 12:10~16:15 Cコース:長崎の 未来 スペースによるまちの賑わい創出視察 八杉 光義 様	9,900円	1	9,900円	10%
2022年08月04日	2022年10月14日 12:10~16:15 Cコース:長崎の 未来 スペースによるまちの賑わい創出視察 宮地 雄輝 様	9,900円	1	9,900円	10%
2022年08月04日	2022年10月14日 12:10~16:15 Cコース:長崎の 未来 スペースによるまちの賑わい創出視察 浜本 将矢 様	9,900円	1	9,900円	10%
	① 請求額合計			59,700円	5,427円
		(0%対象)		0円	0円
		(10%対象)		59,700円	5,427円
		(8%対象 ※1)		0円	0円
		(対象外 ※2)		0円	0円
	② 入金額			0円	0円
	③ 請求残額			59,700円	5,427円

※1 軽減税率適用
※2 消費税対象外商品

研究研修・調査報告書

会 派 名	新政クラブ	報 告 日	2022年10月17日
代 表 者	八杉 光乗 	報 告 者	浜本 将矢 
参 加 者			
	八杉光乗 宮地毅 浜本将矢 計3名		
実 施 日	2022年10月11日		
研究研修・調査等の場所	博多まちづくり推進協議会事務所 福岡市博多区博多駅前 3-25-21		
目 的	博多まちづくり推進協議会への視察		
<p>研究研修・調査等の概要</p> <p>博多まちづくり推進協議会への視察 (15時30分～17時00分)</p> <p>□博多駅の歴史と変遷</p> <p>1958年～1970年 博多駅地区土地区画整理事業</p> <p>1963年 現在地への博多駅の移転</p> <p>現在の位置が4代目 発展とともに地形を考慮し移転してきた。</p> <p>当時の駅からの駅前ビルの老朽化に伴う更新が今後の課題</p> <p>□博多まちづくり推進協議会の発足</p> <p>九州新幹線全線開業により大きな変化(発展)を迎えた。</p> <p>まちの魅力と価値の向上、都心部の国際競争力を高める。</p> <p>博多エリアをどう管理・運営するか、どう育てるかを議論→組織の必要性</p> <p>2008年4月に市民・事業者・地権者・行政と共働で取り組む「まちづくり」組織が誕生した。</p> <p>博多駅を中心に、東西約1.5km、南北約1kmを主な対象エリアに設定。</p> <p>会員約177会員 (2022年10月現在)【行政・企業・住民・学校】</p>			

□博多まちづくり推進協議会の主な取組

○歩いて楽しいまちづくり

- ・はかた駅前どんたくストリート

5月上旬に博多駅前通りを歩行者天国にし、ダンス等イベントを実施。

- ・冬のファンタジーはかた

イルミネーション事業、約100万球の光の装飾。

2017年より国家戦略道路占用事業を活用し、LED製オブジェを設置

- ・はかた夏まつり

2018年より開催。こども盆踊り等、3日間で約10万人を集客

※その他、年間を通して様々な企画を実施、至近では音楽演奏を取り入れたイベントを検討中。音楽は多くの方に好評であり、高い効果を感じているとのこと。

○美しく安心なまちづくり

- ・クリーンデイ

毎月一回、朝の活動として博多駅前周辺を企業や地域等の皆さんと美化活動

1996年より開始、これまで26年間活動を継続している。

- ・防犯講習会

ひったくり対策、電話詐欺、ネットトラブル、自転車交通法等をテーマに実施

- ・防災の取組

オンラインを活用した避難訓練、セミナーを実施

□全体感想



博多まちづくり協議会は、各部会等が組織化されており、その事務局にはJR東日本の社員が担っている。基本的な財源は、年会費や負担金（行政1200万円程度）、広告料等で運営している。

行政主導ではなく、様々な主体が議論・実行する組織体が完成されており、地域住民の理解も高く、互いにまちづくりを思いながら活動を進めていることに大きな可能性を感じた。本市においても、駅前のリノベーションを通じてにぎわいの創出を進めているなかで、その維持・管理をどのような体制で持続させていくのかは課題であり、各年齢層の声を反映する組織の必要性を感じた。いづれにしても、みんなでまちづくりを進めていくという風土や習慣を構築することが重要である。

博多区も、福山市と同様に、まちづくりを進めるなかで、駐車場や駐輪場、喫煙の課題は生じており、場所の確保等、試行錯誤を継続している。今回の視察を通じて、福山市の将来へむけた課題も多く感じたことから、今後の福山市の発展に活用していきたい。

以上

研究研修・調査報告書

会 派 名	新政クラブ	報 告 日	2022年10月18日
代 表 者	八杉 光乗 	報 告 者	浜本 将矢 
参 加 者			
	八杉光乗 宮地毅 浜本将矢 計3名		
実 施 日	2022年10月13日～14日		
研究研修・調査等の場所	出島メッセ長崎 長崎県長崎市尾上町 4-1		
目 的	第84回全国都市問題会議 in 長崎・行政視察		
<p>研究研修・調査等の概要</p> <p>■ 10月13日（9時30分～17時00分）</p> <p>□基調講演・一般報告</p> <p>（1）民間主導の地域創生の重要性</p> <p>講師：株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長 高田 旭人</p> <p>○ジャパネットと地域創生</p> <p>ジャパネットは長崎の小さなカメラ店からスタートした。以降、プロサッカークラブの運営を通じて、誰も気づいていない地域の魅力を徹底的に磨き上げ、全国各地の方に伝えていくことで、長崎の活性化に貢献している。</p> <p>○行政と民間の役割の違い</p> <p>民間企業も行政も目指すゴールは一緒であるが、そこへ行きつくための手段や役割は大きく異なると考えている。公営性に左右されない民間企業だからこそ、行政にはできない思い切った取り組みをすることが可能である。</p>			

(2) 長崎市の魅力あるまちづくり

報告：長崎県長崎市長 田上富久

○長崎市の交流の歴史

約450年前の開港から現在まで、港を通じて、たくさんの人々を受け入れ交流することで栄え、国内外のさまざまな文化を取り入れながら、豊かな個性をもつ都市として発展してきた。

○わがまちの価値とは。

価値を見つけるという視点では、2015年に世界遺産に認定された端島炭坑（軍艦島）が挙げられる。また、2021年10月に開業した長崎市恐竜博物館も価値を見つけた事例の一つである。

長崎と恐竜のつながりは全国的にはあまり知られていないが、実は、恐竜と訳したのは長崎出身で日本の化石研究の基礎を築いた考古学者であることや、長崎半島から国内で初めて10m級の歯の化石が発見される等、長崎と恐竜という新たな価値が見えてきた。

見る角度を変えることで、新たな価値が見つかることもある。また、これまでネガティブに捉えられてきた地域課題をポジティブに捉え直すことにより、地域活性化等につながっていく事例は、これからの地方都市の政策のヒントになっていくと考えている。

(3) 地域との新しい関わり方・関係人口

報告：島根県立大学地域政策学部准教授 田中輝美

○若い世代と関係人口

まずは、鳥取市の先進的な事例の紹介があった。

地元住民と一緒に団体をつくり、空き家を活用した民泊をスタートした。

都市の人が一定期間滞在して働きながら地域の人たちとも交流する総務省の「ふるさとワーキングホリデー」の受入を始めた。こうして一度訪れた後、定期的に通ってくる人たちを「週末住人s」と呼び、鳥取を「ふるさと」と感じる若い世代を中心としたコミュニティを運営している。

○選ばれるための新しいインフラ

人との関係をつくる窓口となる場所は「関係案内所」と呼ばれている。

新型コロナウイルスの影響もあり、応援したい生産者や飲食店の物を買って支える動きが各地で活発化した。こうした行動は応援消費とも呼ばれ、買うという形も関係人口のあり方の一つであり、行くだけではない多様な関わりしろを用意することも、結果的に選ばれるまちにつながるものである。

(4) ビジョンを活かしたまちづくり

報告：山形県山形市長 佐藤孝弘

山形市は選ばれる都市として「健康医療先進都市」と「文化創造都市」をビジョンに掲げた施策を展開している。市内には総合病院も多く、山形大学では次世代型重粒子線がん治療も行っており、医療と健康に強みをもっている。

また、令和2年にウォークブル推進都市に加わっており、居心地がよく歩きたくなるまちづくりと街のにぎわい創生の連携に力を入れている。

脱車社会を実現し日常の運動機会を増やすことが重要であり、この取り組みを推進するために健康ポイント事業としてアプリを活用しながら実施している。また、公共交通の再生も重要な課題であり、誰もが快適に移動できる環境の実現にむけ取り組んでいる。

(5) 「交流の産業化」を支える景観まちづくり

報告：一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事 高尾忠志

長崎市は全国でみても人口減少が進んでいるまちである。

そのなかで、100年に一度のまちづくりと呼ばれる大規模な事業により、まちを大きく変えていく取り組みを進めている。その一つが景観専門監である。

そのミッションは長崎市が行う公共事業のデザインと管理、長崎市職員の育成等であり、長崎が有する景観資源を有効に活用するためにも、知識と経験を有した専門監が各事業の現場におけるOJTを通じて職員の育成を進めている。

縦割りのなかでビジョンをもって仕事に取り組む人材が必要とされており、自治体職員はそのハブを担う重要な存在である。職員育成という人的資本、人のつながりである社会関係資本に投資することが必要であり、専門監の役割は非常に大きいものである。

■ 10月14日 (9時30分～12時00分)

□ パネルディスカッション

【参加者】

○ 「選ばれる」まちづくりに向けた都市自治体のアプローチ

【東京都立大学法学部教授 大杉覚】

選ばれるまちづくりを考える際に、根っこにある地域価値は、そこに暮らす人々の日常を支え、暮らしに欠かせない大切なものを支える価値である。

○ 人が人を磨き、輝く人が人を呼ぶ

【ゆとり研究所所長 野口智子】

交流人口、関係人口のまえに、住んでいる人同士が深く知り合っ、お互いを尊重することが大事である。人が集まり語る場を創るため「雲仙人」プロジェクトを立ち上げた。今では、市外の人参加しており、オンラインでのつながりも育ってきている。

○ワーケーションの意味と拡張と変異

【山梨大学生命環境学部地域社会システム学科教授 田中敦】

企業では、効果が明確でないことから経営層の理解は進んでいない。

当初、ワーケーションの目的は新たな旅のスタイル促進であったが、企業の問題解決、地方創生への貢献等、より明確化された目的に変異してきている。その利点を上手に育てていくことが必要。

○人は人に会いに行く

【NPO法人長崎コンプラドール理事長 桐野耕一】

「長崎さるく博」は日本のまち歩きの手本となった。

まちを歩くことで、自分たちのまちを振り返ることができ、長崎はきっかけを与えるまちとなった。

○人口減少先進地の挑戦

【岐阜県飛騨市長 都竹淳也】

2007年に「飛騨市ファンクラブ」が成立した。

会員数は2022年7月現在で9,900人を突破している。関係人口の創設に効果があり、関係案内所「ヒダスケ」を立ち上げた。

○清酒発祥の地・伊丹

【兵庫県伊丹市長 藤原保幸】

兵庫県は全国最多の9件の日本遺産が認定されている。なかでも伊丹市は「清酒発祥の地」として認定されている。有村架純さんや田辺聖子さん、南野陽子さん等が大使に就任していただいている。

□行政視察（12時10分～16時15分）

≪長崎の未来 スポーツによるまちの賑わい創出≫

○稲佐山スロープカー

世界三大夜景に認定されたことを契機に増加した利用者の新たな移動手段として、2020年1月に誕生した。

デザインは、高級車フェラーリ等を手掛けた工業デザイナー奥山清行氏が率いるKEN OKUYAMADESIGNが手掛けた。企業版ふるさと納税を活用して設定している。

スロープカーは、車いす利用者等も安全に利用できるよう、常に水平を確保できる設計となっていることや、窓部分が多く景観を有効に活用したデザインとなっていた。

○長崎スタジアムシティプロジェクト

ジャパネットグループがサッカースタジアムを中心にアリーナ・ホテル・オフィス・商業施設を併設し、様々なワクワクが詰まった街づくりを進めるプロジェクトである。

徹底的に来場者の目線でこだわり抜いた施設、日常に開かれた開放的な空間、施設全体の回遊を生む遊環構造、次世代のための環境への配慮等、長崎から世界発の様々な創造を図り、開発をすすめている。令和6年完成予定で工事施工している場所を視察した。

【総評】

人口減少が進む中で、地域間競争は加速化しており、福山市としても転出超過が進むなかで、人口確保策は重要な課題である。

地方における市町も同様の課題認識のもと、様々な施策を展開しており、コロナ禍を契機に地域間競争も激化してきている。今後のキーワードとしては、関係人口と選ばれるまちづくりであると考えている。また、その地の強みをどのように戦略に取り入れていくかも需要であり、長崎市の景観を主体とした取り組みを参考にしていきたい。

福山市においても、福山城、鞆の浦、バラ等、様々な資源を有するなかで、市民と一体になった取り組みは、引き続き重要であることから、今後の政策提案に活かしていきたい。

以上

支 出 書

会 派 名	新政クラブ	整理 No. 2 - 5
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	319,182円	
支出年月日	2022年10月3日	
支出内容	10月18日～20日(3日間)の参加費及び出張旅費 ・名古屋市科学館への視察 (10/18)【名古屋市】 ・第17回全国市議会議長会研究フォーラム・行政視察 (10/19～20日)【長野市】	
支 出 先	別添のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2022年10月3日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 八杉 光乗

¥91,470

但 10/18 名古屋市科学館視察 (名古屋市) 及び 10/19~20 第17回全国
市議会議長会研究フォーラム・行
政視察 (長野市) への出張旅費

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 八杉 光乗

	金 額	摘 要
交通費	54,120 円	名古屋市・長野市
日当	7,750 円	2.5 日
宿泊料	29,600 円	2 泊
(合計)	91,470 円	

領 収 書

2022年10月3日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 宮地 毅

¥91,470

但 10/18 名古屋市科学館視察 (名古屋市) 及び 10/19~20 第17回全国
市議会議長会研究フォーラム・行
政視察 (長野市) への出張旅費

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 宮地 毅

	金 額	摘 要
交通費	54,120 円	名古屋市・長野市
日当	7,750 円	2.5 日
宿泊料	29,600 円	2 泊
(合計)	91,470 円	

領収書添付用紙

支出書整理 No.2-5

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2022年10月3日

(会派名) 新政クラブ

(代表者) 浜本 将矢

¥75,120

但 10/18 名古屋市科学館視察 (名古屋市) 及び 10/19 第17回全国市議会議長会研究フォーラム・行政視察 (長野市) への出張旅費

	金額	摘要
交通費	54,120円	名古屋市・長野市
日当	6,200円	2.0日
宿泊料	14,800円	1泊
(合計)	75,120円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ

(名 前) 浜本 将矢



ひびきAキャッシュサービス
ご利用明細票

お取引区分 振込 04-10-06121910595
銀行番号 0169 1051-*****
お取引金額 ¥20,000
お取引日 10月19日
お取引時間 15時00分

(お取引先)
みずほ銀行
みずほ支店
〒100-0001 東京都千代田区千代田
トクワ・トラフ・ワース (カ様)

(ご依頼人)
7404 ナナモトマサキ様
電話番号*****

為替通番1004

ひびきAキャッシュサービス
ご利用明細票

お取引区分 振込 04-10-06121510595
銀行番号 0169 1051-*****
お取引金額 ¥20,000
お取引日 10月18日
お取引時間 15時00分

(お取引先)
みずほ銀行
みずほ支店
〒100-0001 東京都千代田区千代田
トクワ・トラフ・ワース (カ様)

(ご依頼人)
7404 ナナモトマサキ様
電話番号*****

為替通番1002

ひびきAキャッシュサービス
ご利用明細票

お取引区分 振込 04-10-06121710595
銀行番号 0169 1051-*****
お取引金額 ¥20,000
お取引日 10月19日
お取引時間 15時00分

(お取引先)
みずほ銀行
みずほ支店
〒100-0001 東京都千代田区千代田
トクワ・トラフ・ワース (カ様)

(ご依頼人)
7404 ナナモトマサキ様
電話番号*****

為替通番1003

領収書添付用紙

支出書整理 No. 2 - 5

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

W000136

第17回全国市議会議員会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

福山市議会 御中
八杉 光栄様 宮地 義様 浜本 将矢様

参加費領収書

第17回全国市議会議員会研究フォーラム実行委員
委員長 清水 富
東京都千代田区平河町2-4-

金 27,000 円

第17回全国市議会議員会研究フォーラム in 長野の参加費として
令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

視察参加費

※33,000円(1人11,000円)のうち、1人分は急遽キャンセルとなったため、キャンセル料として11,000円支出します。

W000136

第17回全国市議会議員会研究フォーラム in 長野

令和4年11月4日

福山市議会 御中
八杉 光栄様 宮地 義様 浜本 将矢様



視察参加費領収書

第17回全国市議会議員会研究フォーラム実行委員
委員長 清水 富
東京都千代田区平河町2-4-

金 33,000 円

第17回全国市議会議員会研究フォーラム in 長野の視察参加費として
令和4年10月19日・20日開催 (長野市)

研究研修・調査報告書

会 派 名	新政クラブ	報 告 日	2022年10月21日
代 表 者	八杉 光乗 	報 告 者	浜本 将矢 
参 加 者			
	八杉光乗 宮地毅 浜本将矢 計3名		
実 施 日	2022年10月18日		
研究研修・調査等の場所	名古屋市科学館 名古屋市中区栄二丁目17番1号		
目 的	名古屋市科学館への視察		
<p>研究研修・調査等の概要</p> <p>□行政視察 《名古屋市科学館》（13時00分～16時00分）</p> <p>《概要》</p> <p>市政施行70周年記念事業の一環として、昭和37年に天文館が建設、昭和39年に理工館、平成元年に生命館が開館し、平成2年に登録博物館となった。</p> <p>平成23年には、老朽化した天文館・理工館を改築し、世界最大のプラネタリウムに加え、4つの大型展示を備えた新たな施設として開館した。</p> <p>◆入館料：有料（中学生以下は無料）</p> <p>◆入館数：令和3年 一日平均2,614人（開館日数296日）</p> <p>◆特徴</p> <p>○ドーム内径35m世界最大級のプラネタリウムドーム（ギネス世界記録に認定） 1日6回投影 座席数350席</p> <p>○プラネタリウムの球体を強調したランドマーク的な外観デザイン</p> <p>○自然の驚異を体感できるダイナミックな4つの大型展示</p>			

◆職員数

61名（令和4年5月現在）

- ・館長1名、学芸員17名、社会教育主事1名、技術主事1名
- ・行政職15名（事務13名、技術2名）
- ・再任用短時間職員10名、会計年度任用職員16名

◆主なヒアリング内容

- アンケートを年2回実施しながら、ニーズにあった展示に心がけている。
- 運営費は約13億円、内、人件費で2億を支出している。
- 展示更新は希望しているものの、行政直営でもあり、予算の関係上、希望通りにはいかない面もある。
- メインターゲットの考えはなく、全世代を対象としている。
- 企業と連携して、展示物などの協力をいただいている。

《総評》

名古屋市科学館の魅力は多様であるが、なかでもプラネタリウムを一番の魅力として注力していることがうかがえました。

体験テーマごとに分かり易い大型展示を実施しており、見どころのある科学館でありました。一方で、展示物の変更には予算も要し、時々ニーズにタイムリーに対応できる変更は課題として挙げられていた。加えて、団体に対する食事や待合、バス乗降スペースが少ない課題も挙げられていた。

いずれにしても、建設設計が非常に重要で、全国の科学館等の実態をもとに、利用者目線を十分に考慮した設計を心がける必要性を感じました。

福山市としても、現在、(仮称)こども未来館にむけ議論を進めているため、今後の参考にしていくこととします。

以上

研究研修・調査報告書

会 派 名	新政クラブ	報 告 日	2022年10月26日
代 表 者	八杉 光乗 (印)	報 告 者	八杉 光乗 (印)
参 加 者			
	八杉光乗 宮地 毅 浜本将矢 計3名		
実 施 日	2022年10月19日(水) ~ 20日(木)		
研究研修・調査等の場所	<ul style="list-style-type: none"> ・第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野 ホクト文化ホール(長野県長野市若里1丁目1-3) 視察: 長野市内, 松代城跡, 真田宝物館, 真田邸, 文武学校 		
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・「第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野」への参加 		
<p>研究研修・調査等の概要</p> <p>□10月19日(13:00~17:00)</p> <p>1. 基調講演: コロナ後の地域経済</p> <p>【講師】株式会社 経営共創基盤(IGPI)グループ会長/株式会社 日本共創プラットフォーム(JPIX)代表取締役社長 富山和彦 氏</p> <p>○平成30年間に進んだ破壊的イノベーションの波はコロナでさらに拡大・拡大している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル革命は拡大し, AI新時代(第4次産業革命)が到来 ・しかし, グローバル競争の中で日本経済・企業の地位が低下 <p>○日本経済復興の本丸はローカル経済圏, 中堅・中小企業経済圏である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GDPの7割, 雇用の8割, そしてその比率は上昇を続ける ・労働生産性の低さ, マネジメントレベルの低さこそが成長の機会 ・エッセンシャルワーカーこそが, これからのコア中間層を形成すべき職種 ・「分ける化」「見える化」といった地道かつ徹底的CXがDXにつながる事業特性 			

○ローカル経済圏でなぜ当たり前のことができないのか。

- ・経営人材や経営体の動機づけの問題、新陳代謝が進まないことや地域経済密度の問題が関係している。

○「日本共創プラットフォーム みちのりグループ」は、東北地方を中心に経営難に陥ったバスや鉄道など、地域公共交通関連事業の経営の効率を上げるためにデジタルを活用して経営再建を行っている。

- ・交通系ＩＣカード導入による乗客ゼロのバスの運行状況把握
 - ・ドライブレコーダー活用による運転手の服務規律の状況把握
 - ・スマートフォンアプリ導入による乗客の利便性向上
 - ・GPS活用による停留所を特定しないオンデマンド型路線バスの導入 など
- 付加価値を高めるアイデアを創出することで経営状況を好転させた。

○今後、産業のデジタル化は自動運転や医療への応用など、リアルな世界への応用が始まる。いかに経営の効率化が図れるか否かは、アイデアを活かせる人材が鍵となる。

2. パネルディスカッション：地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性

【コーディネーター】毎日新聞社論説委員 人羅 格 氏

【パネリスト】早稲田大学電子政府・自治体研究所教授 岩崎尚子 氏

東京大学先端科学技術研究センター教授 牧原 出 氏

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授 湯浅壘道 氏

長野市議会議長 寺沢さゆり 氏

■早稲田大学電子政府・自治体研究所教授 岩崎尚子 氏

○議会のデジタル化についての現状・課題

- ・議会のデジタル化の目的は、あらゆる災害時にも議会機能を十分に発揮し、住民とのコミュニケーションを確保すること
- ・“誰も取り残されない”デジタル社会に向けて、議会が果たすべき市議会のリーダーシップ
- ・市議会が域内のコミュニティを取りまとめる役割を果たすために必要なデジタル改革(DX)

○議会のデジタル化を推進するための提言

- ・非接触型社会への対応…有事と平時における議会の役割
- ・新デジタル人材育成…リスクリング、技術導入、誰も取り残されない共助社会
- ・指導的地位を占める女性割合を増やすポジティブアクションを実現するためのデジタル化の促進と国連SDGsの実装へ
- ・最適なテレワーク…BCP, 介護, 育児等への多様で柔軟な選択肢こそ, 少子・高齢・人口減少社会の解決モデル
- ・新デジタル社会の形成に強力な政治リーダーシップで, 地方の経済格差, 並びに情報

格差の解消を優先せよ

■東京大学先端科学技術研究センター教授 牧原 出 氏

○オンライン議会の開催の条件

- ・オンライン参加の場が議会からも市民からも可視化されていること、議会での参加と近い条件を確保していること
- ・オンライン参加者と議場参加者とを同等に扱いつつ審議を進めること
- ・すでに実施している団体側から、実施に際しての留意点・工夫点などの細かい情報を公開し、他の地方議会と共有していくこと
- ・規模の大きい自治体であればあるほどオンライン開催・デジタル化の効用も大きい

○デジタル化の今後

- ・市民からのアクセスが容易なデジタル化は不可欠、市民への「議会報告会」こそ、ハイブリッド開催などデジタル化になじむ、普段からデジタル化を進めていないとそうした対応も難しくなる
- ・議員の担い手不足の面からはオンライン議会の可能性は大きい
- ・自治体全体のデジタル化と歩調を合わせるべき
- ・デジタルのリテラシーと法律のリテラシーは相性が悪いことは十分留意すべき

■明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授 湯浅壘道 氏

○議会のデジタル化の背景

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による気づき
- ・社会全体のデジタルトランスフォーメーションと地方行政のデジタル化
- ・すべての人を対象とした「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」の実現
- ・住民のための事務の効率化と高度化

○議会のデジタル化の意義

- ・平時・災害時・コロナ禍にかかわらず議会機能を十分に発揮し、住民とのコミュニケーション確保
- ・デジタルトランスフォーメーション視点により、議会・議員活動を見直す
- ・オンライン化で実現可能・・・危機に強い議会の構築、デジタル・インクルージョンの実現、議会に何らかの制約で出席できない議員をできるだけ減らし民意を反映

○セキュリティと個人情報保護

- ・デジタルやオンラインの側面だけでなく、危機全体に対する物理的なセキュリティと一体的に考える
- ・議会は個人情報保護法の適用外のため、議会のデジタル化にあたっては、議会として個人情報の取扱いについて考える必要がある

■長野市議会議長 寺沢さゆり 氏

○長野市議会のデジタル化への取り組み

- ・採決システムの導入（平成28年2月）
個々の議員の表決が議場のモニターに採決結果として表示される
- ・常任委員会のインターネット中継（録画）を開始（平成30年6月）
- ・議会活動にタブレット端末を導入（平成31年1月）
業務の効率化、紙資源削減などの効果、タブレット利用による市民への迅速な資料説明が可能
- ・市民と議会の意見交換会をオンラインで開催（令和4年5月）
従来の報告会形式から市民の意見を取り入れやすい意見交換会形式に変更し、対面とハイブリッド方式で開催
- ・委員会のオンライン開催の導入に向けた検討
重大な感染症のまん延や災害等の発生で委員が参集できない場合においても、委員会としての機能を維持できる会議形式を導入

□10月20日（9：00～16：30）

1. 課題討議：地方議会のデジタル化の取組報告

【コーディネーター】慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 谷口尚子 氏

【事例報告者】取手市議会議長 金澤克仁 氏
可児市議会議長 板津博之 氏
西脇市議会議長 林 晴信 氏

■取手市議会の取り組み

○ICTを活用した取り組み（いつでも・どこでも議会の権能を維持向上）

- ・タブレットの導入で公式委員会、非公式会議等を各々50回以上開催
- ・オンラインによる議案の事前説明を実施、ユーチューブで繰り返し確認が可能となり、事前調査が活発化
- ・現地に行かずに現場を把握できるオンライン現地視察を実施
- ・その他、広聴・広報、災害時の対応、研修でもオンライン対応を可能としており、ペーパーレスの面でも大きな成果をあげている
- ・市民が検索しやすい会議録視覚化システムを導入

■可児市議会取り組み

○コロナ禍における議会報告会のあり方を検討

- ・出席者を限定したハイブリッド方式（令和2年11月）
- ・完全オンラインの議会報告会（令和4年5月）

○議会グループウェアの導入（平成31年4月～導入）

- ・委員会資料を委員以外にも配信するほか、意見交換、議会だよりの校正に活用
- ・閲覧習慣の定着化を図り、個人メールからグループウェアへの移行など、アプリ化も含めて利活用を促進

■西脇市議会の取り組み

○議会DXの取り組み

- ・オンライン視察の受け入れ、及びオンラインによる一般行視察の実施
- ・オンライン議会と語ろう会の実施
オンライン会議の特性として、「1対1」になりがちな議論と会議開催の周知方法、参加者を増やす方策、議員やファシリテーターのスキルアップが課題
- ・オンライン予算広聴会の開催（第1回目の参加者は1名）
市民、特に若い世代に情報をリーチさせ参加につなげる広報広聴戦略が最重要課題

2. 視察：活用する文化財「真田十万石」城下町・松代地区

○松代城跡・真田宝物館・真田邸・文武学校

- ・長野市松代町は、戦国時代から活躍した真田家が、江戸時代初めに上田地域からこの地に移された後、明治時代に入るまでの250年間、松代藩十万石の城下町として発展した地域である。
- ・今回の視察では、真田家の居城であった松代城跡、伝来した大名道具を収蔵・展示する真田宝物館をはじめ、江戸時代の藩校や御殿、庭園など、往時の歴史・文化を体感することができた。

□所感

今年度の全国市議会議長会研究フォーラムは、「デジタルが開く地方議会の未来」をテーマに活発な議論が繰り広げられた。

デジタル技術を活用した地方活性化が叫ばれる中、経済社会のデジタル化の急速な進展と新型コロナウイルス感染症の拡大などを背景に、地方自治体や地方議会のデジタル化も急務となっている。研究フォーラムでは、地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性や、先進的なデジタル化に取り組んでいる市議会の事例報告など、パネルディスカッションや課題討議を通じて議論が行われ、デジタル社会における地方議会のあり方について認識、知識を深めることができた。

地方議会においては、議会活動そのものをオンラインでも実施できるような環境整備を行うとともに、デジタル技術を活用して議会と住民の新たなコミュニケーションの可能性を広げることが期待されている。

福山市議会においても、タブレット端末が全議員に配布され、資料の電子化やペーパーレ

ス化等、業務の効率化につながっているが、今後はオンライン委員会の開催を可能とする環境整備など、さらに議会DXを進める中で、議会活動や政策立案、住民とのコミュニケーションの高度化に努めていく必要がある。そのためには、クリアすべき課題は多いが、先進的な議会の取り組みも参考にしながら、議会一丸となって取り組んでいきたい。

研究フォーラム2日目の午後からは、歴史資源を活用したまちづくりの取り組みを視察した。

松代地区にある文化財は、これまでの「保存する」文化財から、「活用する」文化財への変革を遂げている。令和2年度に一新された文武学校をはじめ、文化財でありながら、地元住民の文化活動や映画撮影など、多様に活用されているとのことであった。(令和元年度には国土交通省から表彰を受けている)

福山市にも、鞆の浦や福山城など多くの歴史資源があり、そうした歴史資源、文化財を活用した地域の活性化やまちづくりも進められている。今後は他都市の取り組みを参考にしながら、さらなる活用方法を研究すると同時に、福山市の歴史資源、文化財を全国に幅広く発信していく取り組みも強化していかなければならない。

以上

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2022年10月3日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 八杉 光乗¥56,310

但 10/27~28 中核市サミット 2022in

豊田・行政視察への出張旅費

	金額	摘要
交通費	36,860円	豊田市
日当	4,650円	1.5日
宿泊料	14,800円	1泊
(合計)	56,310円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 八杉 光乗

領 収 書

2022年10月3日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 宮地 毅¥56,310

但 10/27~28 中核市サミット 2022in

豊田・行政視察への出張旅費

	金額	摘要
交通費	36,860円	豊田市
日当	4,650円	1.5日
宿泊料	14,800円	1泊
(合計)	56,310円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 宮地 毅

領収書添付用紙

支出書整理 No.2 - 6

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2022年10月3日

(会派名) 新政クラブ

(代表者) 浜本 将矢

¥56,310

但 10/27~28 中核市サミット 2022in
豊田・行政視察への出張旅費

	金額	摘要
交通費	36,860円	豊田市
日当	4,650円	1.5日
宿泊料	14,800円	1泊
(合計)	56,310円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ

(名 前) 浜本 将矢



U3さんキャッシュサービス
ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。

お取引区分	振込	お取引日	2022/10/28	お取引金額	00
振込先	04-09-27105610595	お取引金額	¥38,700	手数料	¥550
お取引先	016911051-*****	お取引先名	新政クラブ	お取引先住所	
お取引先住所		お取引先電話番号		お取引先支店	

(お受取人)
三義UFJ銀行
よなみ支店
〒430-0801 豊田市
カ)クワイエービルビルディングナストラスノ
人様
(ご依頼人)
ツツエイクラブ様
電話番号*****

お振込番号1006



請求明細

請求書発行日: 2022/08/01 2/2

請求額合計	¥38,700	(税込)	
【内訳】			
イベント名	中核市サミット2022in豊田【議員様・議員随行者様】		
イベント会期	2022/10/27 ~ 2022/10/28		
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	消費税
2022/08/10	2022/10/28 9:00~14:45 山村エリアコース 八杉 光康様	¥12,900	10%
2022/08/10	2022/10/28 9:00~14:45 山村エリアコース 宮崎 毅様	¥12,800	10%
2022/08/10	2022/10/28 9:00~14:45 山村エリアコース 浜本 将矢様	¥12,900	10%
	①請求額合計	¥38,700	¥3,518
		(8%対象)	¥0
		(10%対象)	¥0
		(8%対象※1)	¥0
		(対象外※2)	¥0
	②入金額	¥0	¥0
	③請求残額	¥38,700	¥3,518

※1 軽減税率適用
※2 消費税対象外商品

研究研修・調査報告書

会 派 名	新政クラブ	報 告 日	2022年11月4日
代 表 者	八杉 光乗 	報 告 者	八杉 光乗 
参 加 者			
	八杉光乗 宮地 毅 浜本将矢 計3名		
実 施 日	2022年10月27日(木) ~ 28日(金)		
研究研修・調査等の場所	・中核市サミット2022 in 豊田 愛知県豊田市喜多町 名鉄トヨタホテル		
目 的	・「中核市サミット2022 in 豊田」への参加		
研究研修・調査等の概要 □10月27日(13:00~17:00) 1. 基調講演：未来の未来を探る ~AI・組織・コミュニケーションの視点から~ 【講師】日本大学文理学部教授 大澤正彦氏 ・大澤助教のビジョン、目標は「ともにドラえもんをつくる」こと。これが全て。このロードマップをみなさんとともに描きたい。 ・世の中には1つの目的が中心にあるプロジェクトベースの組織が多いが、個人の目的を追求しあらゆる価値を認めるコミュニティベースの「ウニ型組織」の構築を目指している。合言葉は100人で100人の夢を叶える。 ・未来を考えたからこそ、未来のその先が見えてくる。今と未来とその先を行ったり来たりしながら、ロードマップの解像度を上げていく。 ・合理性を求め、人に寄り添うエネルギーが枯渇している。だれもが「助けて」といえる世の中に。			

2. パネルディスカッション：時代の変化にしなやかに適応する産業のミライ

【コーディネーター】名古屋大学 名誉教授 山田基成氏

【コメンテーター】有志団体 Dream On 代表 中村翼氏

【パネリスト】姫路市長, 奈良市長, 松江市長

○姫路市の取り組み

- ・脱炭素の未来に向けて姫路域とその周辺におけるゼロカーボンキャッスル構想, CO₂の排出ゼロを目指し取り組みを進めている。
- ・カーボンニュートラルポート (CNP) 形成計画策定の推進として, 次世代エネルギー (水素・燃料アンモニウム等) の輸入や貯蔵等を可能にする受入環境の整備に産学官で連携して取り組んでいる。

○奈良市の取り組み

- ・20歳代の若年層の市外流出や女性就業率の低さといった人口動態に関わることが課題で, それに対して外部からの企業誘致を積極的に行っている。
- ・豊富な観光資源の更なる魅力向上, あるいは, 若者や女性の就業率向上に向けて産業集積を更に図るために, 企業との連携や高等教育機関との協力を積極的に進めている。

○松江市の取り組み

- ・多様な手仕事やものづくり文化といった歴史的資源を生かして職人商店街創出という, これまでにないユニークな体験型の商店街づくりに取り組んでいる。
- ・持続可能な産業と暮らしの構築に向けて, 江戸時代の「循環型・衣食住」を現代にカスタマイズした「まつえ循環プロジェクト」といった取り組みも進めている。

○まとめ

- ・ミライのその先は予測しにくい, 2040年, 50年の自分たちのまちの理想の姿を描かないと目指すものが分からない。若い人の力を借りながら, 未来のまちの姿を具体的に描くことが重要。
- ・現在の日本の状況では人手不足になることは目に見えている。既存の人材の活用をするための学び直し, リスキリングとあわせて, 2040年, 50年の日本は日本人だけではなく, いろいろな国籍や人種からなる集団で新たなイノベーションにチャレンジしていくことが重要。

□10月28日(9:00~14:30)一般行政視察「山村エリアコース」

豊田市の約7割を占める山村エリアにおいて, 移動手段を軸とした中山間地の暮らしを視察する。

1. つくラッセル

○「つくラッセル」とは

- ・廃小学校を活用して, いろいろな人の想いをカタチにしながら関わり合う, そんな地域のミライを一緒に作って行く場。

○活動・事業内容

- ・地域住民と創るコミュニティ活動による地域活性化
- ・中山間地（高齢者）の移動支援のための超小型モビリティの活用
- ・健康寿命を延ばすモビリティ・ライフプランの地域実践
- ・安心安全な自立移動獲得に向けた多様なモビリティによる地域実証事業
- ・スローライフな中山間に向けた拠点環境整備と地域活動

2. 里モビリティ

○「里モビリティ」とは

- ・山里，移動（モビリティ），地域（コミュニティ）を組み合わせた造語で，移動を軸に山里（中山間地）での暮らしの支援を目指す。

○中山間地での移動とは

- ・中山間地では，子どもから高齢者に至るまで，生活の中のあらゆるタイミングで移動を自分事として捉えられてきた。中山間地での生活と移動は不離一帯の関係。
- ・中山間地では，自家用車での移動が不可欠である。高齢者の運転免許返納により「地域に住み続けられないリスク」に対して，公助や共助で支えるには限界がある。
→超小型モビリティ活用による歳を重ねても自在に移動できる暮らしを実現する。

□所感

今年度の中核市サミットでは、「多様な主体とつながり，つくり，暮らし楽しむ ～中核市が描く『ミライのその先』～」をテーマに議論が行われた。

中核市は，地域の中核都市として，地方分権の推進と地域の発展に大きな役割を果たしてきたが，コロナ禍を契機に，デジタルや脱炭素といった変革とイノベーションの進展による新たな手法や価値が創出され続ける中，新たな価値基準への転換を進めるとともに，将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていくために，「ミライ」のさらに「その先」を描きなおす，重要かつ困難な時期を迎えているとのことであった。

パネルディスカッションで事例報告があったように，産業構造の変革や人口減少社会の到来，また，人々の価値観や生活様式が大きく変化をする昨今においては，時代の変化にしなやかに適応する「産業のミライ」，そして，多様なつながりと描く「地域共生社会のミライ」に向けた取り組みがこれまで以上に重要になってくる。今回のサミットに参加して得たものを参考に，福山市や備後圏域の「ミライ」のさらに「その先」について，議会の中でも議論を深めていきたい。

一般行政視察を行った，中山間地における移動手段を軸とした地域活性化の取り組みについては，多くの自治体が課題として抱えている問題でもある。他地域の事例も更に勉強しながら，福山市の地域特性にあった移動手段の確保について考えていきたい。

支 出 書

会 派 名	新政クラブ	整理 No. 2 - 7
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	332,760円	
支出年月日	2023年 1月 11日	
支出内容	1月17日～18日(2日間) ・地方議会研究会主催セミナー(福岡市)への参加費及び出張旅費	
支 出 先	別添のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2023年1月11日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 八杉 光乗¥50,920但 1月17日～18日地方議会
研究会主催セミナー(福岡市)へ
の出張旅費

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 八杉 光乗

	金 額	摘 要
交通費	29,920 円	福岡市博多区
日当	6,200 円	2日
宿泊料	14,800 円	1泊
(合計)	50,920 円	

領 収 書

2023年1月11日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 八杉 光乗¥50,920但 1月17日～18日地方議会
研究会主催セミナー(福岡市)へ
の出張旅費

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 宮地 毅

	金 額	摘 要
交通費	29,920 円	福岡市博多区
日当	6,200 円	2日
宿泊料	14,800 円	1泊
(合計)	50,920 円	

領収書添付用紙

支出書整理 No. 2 - 7

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2023年1月11日

(会派名) 新政クラブ

(代表者) 八杉 光乗

¥50,920

但 1月17日～18日地方議会
研究会主催セミナー(福岡市)へ
の出張旅費

	金額	摘要
交通費	29,920円	福岡市博多区
日当	6,200円	2日
宿泊料	14,800円	1泊
(合計)	50,920円	

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ

(名 前) 浜本 将矢



領収証

2023年1月17日

浜本将矢 様

★ ¥60,000

但 1/17,18 財政比較特別研修

研究会受領代として

上記正に領収いたしました



地方議員研究会
〒530-0001
大阪府大阪市北区
大阪駅前第2ビル
TEL 050-686-1111



領収証

2023年1月17日

八杉光乗 様

★ ¥60,000

但 1/17,18 財政比較特別研修

研究会受領代として

上記正に領収いたしました



地方議員研究会
〒530-0001
大阪府大阪市北区
大阪駅前第2ビル
TEL 050-686-1111



領収証

2023年1月17日

宮地 毅 様

★ ¥60,000

但 1/17,18 財政比較特別研修

研究会受領代として

上記正に領収いたしました



地方議員研究会
〒530-0001
大阪府大阪市北区
大阪駅前第2ビル
TEL 050-686-1111



研究研修・調査報告書

会 派 名	新政クラブ	報 告 日	2023年1月23日
代 表 者	八杉 光乗 (印)	報 告 者	浜本 将矢 (印)
参 加 者			
	八杉光乗 宮地毅 浜本将矢 計3名		
実 施 日	2023年1月17日～18日		
研究研修・調査等の場所	リファレンス駅東ビル 福岡市博多区博多駅東1-16-14		
目 的	地方議員研究会セミナー受講		
	歳入・歳出の財政比較 (1月17日) 財政指標の比較分析・質問のポイント (1月18日) 講師：川本達志		
研究研修・調査等の概要			
■ 1月17日 (10時00分～16時30分)			
□ 「歳入・歳出の財政比較」			
(1) 中核市の特徴			
地方自治法 第252条の22			
○人口二十万以上の市			
保健所設置が入るため、コロナ禍においては、きめ細やかな対応が可能となる。			
中核市要件に面積が入っていないため、面積規模の格差は大きい。			
○自立した都市経営 (権限移譲・財源保障と人材確保)			
○人口減少のなか、地域の中心的な都市として、周辺自治体を補完する役割がある。			
(2) 市民税について			
均等割 (一律3,500円) と所得割で構成			
中核市の市民税ランキング (令和2年度)			

1位 西宮市（82.1千円/1人当たり）

※福山市は48位（52.2千円/1人当たり）

市民税は、個人と法人の割合をみる必要がある。

法人の納税割合が大きいところは、大きな納税の業種・企業があり、その自治体の産業基盤となっている。

（3）固定資産税について

住宅用地、家屋、商業地等の宅地であり、地価が上がると上昇する。

上限はなく、自治体で変えることができる。

【中核市の固定資産税ランキング（令和2年度）】

1位 豊田市（100.2千円/1人当たり）

※福山市は15位（68.4千円/1人当たり）

（4）地方交付税について

どこに住んでいてもサービス水準に差異が生じないように、地方税で不足している部分を交付税で補う仕組み。

したがって、国のお金ではなく、国が集めて配分している。

□「歳出の財政比較」

（1）性質別歳出について

人件費、扶助費、公債費は義務的経費で必ず支出するものである。

予算書は、目的別であるが、目的別は年度ごとの事業の多寡によって、金額が大きく変動するため、財政分析には適していない。

客観的に財政状況を分析するために、統一した性質別の定義で支出を分析することが必要である。

※それぞれの性質別経費の内容や目的、他市の決算資料報告等について説明がされた。

（2）人件費について

過去5年間の推移をみて、全国トレンドと整合しているのか分析する必要がある。

生産年齢人口が減少するなかで、将来的に職員数も減少するため、民間委託をはじめ、生産性の向上も目指すことが大事である。

【中核市の人件費比率（令和2年度）】

※歳出総額に占める割合

1位 八戸市（構成比7.4%）

※福山市は38位（構成比12.5%）

(3) 扶助費について

社会保障制度の一環として、生活保護法や児童福祉法、老人福祉法など、国の法律に基づいて支出するものと、地方自治体が住民福祉の増進を図るため、独自の施策において支出するものがある。

【扶助費ランキング（令和2年度）】

1位 松江市（49,061千円/人口千人当たり支出額）

※福山市は40位（30,261千円/人口千人当たり支出額）

(4) 公債費について

地方債（借金）の元利償還金であり、過大になれば、他の事業に充てる財源が不足し、財政が硬直化する。

【公債費ランキング（令和2年度）】

1位 下関市（61,001千円/人口千人当たり支出額）

※福山市は40位（31,769千円/人口千人当たり支出額）

(5) 物件費について

消耗品費、光熱水費、賃金、旅費、役務費、委託料等の経費であり、公の施設管理のために委託料が多額になる場合もある。

したがって、各種窓口業務の民間委託、DX推進の民間専門人材の活用も進んでいる。

【物件費ランキング（令和2年度）】

1位 宇都宮市（97,255千円/人口千人当たり支出額）

※福山市は29位（33,204千円/人口千人当たり支出額）

■ 1月18日（10時00分～16時30分）

□「財政指標の比較分析」

財政指標は、財政状況を客観的に知るための材料であり、現状が持続可能な状態でまちづくりに取組める状態かどうかを知るためのものである。

○経常収支比率＝財政の弾力性

収支の余裕度を表し、小さいほど、投資等に投入できる財源があるということ。

【経常収支ランキング】

1位 豊田市（77.1%）

※福山市は3位（86.3%）

※その他、他市（中核市）との比較が紹介された。

○財政力指数について

財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きく、財源に余裕がある。

○財政状況を「見えるか」するための健全化判断比率

夕張市の財政破綻に伴い、地方公共団体の財政の健全化に関する法律が制度化された。地方公共団体は、毎年度、健全化判断比率を監査委員の審査に付したうえで、議会に報告し公表しなければならない。

○夕張市の財政破綻から学ぶこと

- ・執行部および議会で、財政への影響に対する議論がされていない。
- ・財政状況について正確な情報が公表されておらず、正しい客観的な判断を議会も市民も出来ていなかった。
- ・議会が市長任せにして、必要な資料を要求せず主体的な判断を示さなかった。
- ・歴代市長は、規模に見合った組織やサービス見直しをしなかった。議会も放置した。

□「財政状況資料集からできる質問のポイント」

○これからの自治体財政の考え方

- ①公共施設・インフラの老朽化と過大化
- ②人口減少・高齢化に伴う扶助費、介護費の増と税収減
- ③自然災害、感染症などのリスクによる一時的財政需要拡大
- ④第3セクター、公社等の経営悪化

○財政は手段であるが、人材ともに目的を達成するために不可欠の要素

- ①現状の財政状況を分析
- ②総合計画・実施計画を前提に財政シミュレーションの実施
- ③財政分析指標による評価
- ④評価を、実施計画、定員管理計画、公共施設等管理計画に反映

※他市の財政比較分析表を見比べ、状況の説明があった。

- ・長崎市：地方債残高が多く、各年度の公債費支出が高め（財政硬直化傾向）。扶助費が逡減しているが、何が原因なのか・・・等。
- ・下関市：人件費に財政硬直化の要因がある。（類似団体比較した場合に高い）適正化（削減）計画の策定は。外部委託も可能な業務があるのでは・・・等。

○定員管理調査の見方

総務省の管理調査の見方が紹介された。

人口千人あたりの一般行政数

福山市は4.79人（倉敷市 4.21人）

【人口千人当たり職員数ランキング】

1位 金沢市 3.77人
62位 佐世保市 6.19人

□全体感想

福山市を取り巻く財政は、他市と同様に、少子高齢化のさらなる進行などにより、市税の伸びが期待できない一方で、社会保障関係費の増加が予測されます。

また、未来を見据えた投資を行えば、その財源としての市債発行額や市債残高も一定程度増加していくものと理解しています。

福山市の2021年度決算において、経常収支比率は82.8%と、中核市62市の中では2番目に低い値となっています。

実質公債費比率は1.5%で、同じく9番目に低い状況であるほか、将来負担比率は引き続き、数値が算定されない状況を維持できています。

市民1人当たりの市債残高は29万8,000円で、中核市の平均38万1,000円と比べて低い水準を維持しているなど、類似団体と比較して健全な財政状況にあります。

しかしながら、夕張市の破綻理由にもあるように、分析できる財政データの開示と議会のチェック機能を最大限発揮していく必要性は、今後ますます高まっていくことについて、研修を通じて学ぶことができました。

今後の持続可能な福山市の財政にむけて参考にしていきたいと考えます。

以上

支 出 書

会 派 名	新政クラブ	整理 No. 2 - 8
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 2 <input checked="" type="checkbox"/> 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	342,190 円	
支出年月日	2023年 2月 2日	
支出内容	2月6日～8日（3日間）の参加費及び出張旅費 ・地方議会総合研究所セミナーへの参加 （2/6～2/7）【京都市下京区】 ・大阪科学技術館への視察 （2/8）【大阪市西区】	
支 出 先	別添のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2023年2月2日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 八杉 光乗

¥63,880

但 2/6~7 地方議会総合研究所セミナーへの参加および 2/8 大阪科学技術館の視察に対する参加費・出張旅費

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 八杉 光乗

	金 額	摘要
交通費	24,980 円	京都市下京区、 大阪市西区
日当	9,300 円	3 日
宿泊料	29,600 円	2 泊
(合計)	63,880 円	

領 収 書

2023年2月2日

(会派名) 新政クラブ(代表者) 八杉 光乗

¥63,880

但 2/6~7 地方議会総合研究所セミナーへの参加および 2/8 大阪科学技術館の視察に対する参加費・出張旅費

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ(名 前) 宮地 毅

	金 額	摘要
交通費	24,980 円	京都市下京区、 大阪市西区
日当	9,300 円	3 日
宿泊料	29,600 円	2 泊
(合計)	63,880 円	

領収書添付用紙

支出書整理 No. 2 - 8

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

2023年2月2日

(会派名) 新政クラブ

(代表者) 八杉 光乗

¥63,880

但 2/6~7 地方議会総合研究所セミナーへの参加および 2/8 大阪科学技術館の視察に対する参加費・出張旅費

上記正に領収いたしました

(会派名) 新政クラブ

(名 前) 浜本 将矢



	金額	摘要
交通費	24,980 円	京都市下京区、 大阪市西区
日当	9,300 円	3 日
宿泊料	29,600 円	2 泊
(合計)	63,880 円	



ひろぎんキャッシュサービス

ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。

お取引区分	お取引日	時間	取引店番	振込
振込	05-01-25	1228	10595	
振行番号	お取引店番	口座番号		
0169	1051	-*****	00	
お取引金額		¥150,000		
お取引	万円	五千円	二千円	千円
現金内訳	札	枚	枚	枚
残高	*****			
お取引番号	コード	手数料	おつり	備考
0091		¥550		

(お振込明細・ご案内)

(お受取人)
みずほ銀行
麹町支店
普通
カチホウキ カイツクゴ ウケソキユウツ ヨ様

(ご依頼人)
ヤスキ ミツリ様

電話番号*****

為替通番1006

●お取引金額をご確認ください。
●案内に、ご注意がまいりますのでご確認ください。

領収書添付用紙

支出書整理 No. 2 - 8

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領収書

2023年2月6日

福山市議会
八杉光乗 様

金額

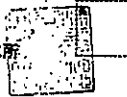
¥25,000

但2月6日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました



〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



領収書

2023年2月6日

福山市議会
浜本将矢 様

金額

¥25,000

但2月6日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました



〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



領収書

2023年2月6日

福山市議会
宮地毅 様

金額

¥25,000

但2月6日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました



〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



領収書

2023年2月7日

福山市議会
八杉光乗 様

金額

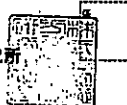
¥25,000

但2月7日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました



〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



領収書

2023年2月7日

福山市議会
浜本将矢 様

金額

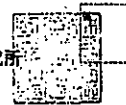
¥25,000

但2月7日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました



〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



領収書

2023年2月7日

福山市議会
宮地毅 様

金額

¥25,000

但2月7日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました





〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



研究研修・調査報告書

会 派 名	新政クラブ	報 告 日	2023年2月10日
代 表 者	八杉 光乗 	報 告 者	浜本 将矢 
参 加 者			
	八杉光乗 宮地毅 浜本将矢 計3名		
実 施 日	2023年2月6日～7日		
研究研修・調査等の場所	京都経済センター 京都市下京区函谷鉾町 78 番地		
目 的	<p>地方議会総合研究所セミナー受講</p> <p>○地域における公共交通のあり方～考える基礎と今日的課題～ 講師：原田 昇（中央大学教授）</p> <p>○市長経験者が明かす！代表質問の極意と予算審議のツボ 講師：平井竜一（前逗子市長）</p>		
<p>研究研修・調査等の概要</p> <p>■ 2月6日</p> <p>□地域における公共交通のあり方～考える基礎と今日的課題(10:00～17:00)</p> <p>(1)交通政策を考える基礎</p> <p>○交通行動を理解する。</p> <p>移動ニーズに適した公共交通サービスを提供するためには、移動に関わる制約と要因を理解することが肝要である。P.M. Jones 出展データをもとに、車や鉄道の選択に関する実質的制約や活動時間等、活動パターンの分析結果について紹介された。</p> <p>○交通システム分析の枠組みを理解する。</p> <p>交通システム分析の基本構造として、バイパス整備において、通過交通排除により、旧道の混雑解消に効果はあるものの、利便性が上がることで交通量は増加し、結果的に交通需要の増加による再混雑が予測される。(誘発需要)</p>			

今後の対策として、広域的な土地利用規制や鉄道、バス等の整備により、交通手段分担の変化が有効である。

(2) 社会的に必要な公共交通と整備の仕組み

○持続可能な社会のために必要な理由とは。

持続化なモビリティとは、今日と将来にわたり、移動以外の根源的な人間価値を犠牲にすることなく、自由に移動し、アクセスし、コミュニケーションし、取引し、関係を構築するという社会的ニーズを満たすことの出来る能力のことである。

◆交通混雑の問題

大都市の広域的混雑や休日スポットの局地的混雑等、地形や規模の影響で大きく自動車分担率は変化している状況にある。

→ITS（高度道路交通システム）によるスマートシティー化

特定時間特定区間の容量不足に対して、逃げ道があれば交通情報提供で対応できる。

◆交通事故の問題

台当たり死者数の削減限界、台数増加による総数増大等、さらなる高度情報技術を活用した取締り強化や速度管理等の安全対策が必要である。

→事故ゼロは目標となっており、ITSを活用して、交差点の出会い頭や歩行者との接触事故を防ぐ手法が開発されている。

◆公共交通企業の劣化問題

独立採算制に基づく鉄道やバスの廃止、社会的に必要な公共交通を維持するための制度見直し、まちづくり貢献に基づく費用負担等、交通政策基本法の制定以降、大きく変化してきているなかで、独立採算制や財源制度の見直しが必要である。

→独立採算制は、投資を含む事業経費を事業経営による収入で賄う方式であり、日本では、大手民鉄という世界に類を見ない企業形態が成立したことの影響が強い。今後の方向性として、財源における公共負担の割合の拡大、公的な技術開発支援の必要性の増大、地域特性を反映できる制度の導入が必要である。

○わが国における整備の仕組み～特殊な事情と最近の動向～

◆独立採算制（民設民営）が最近までは大原則。

◆鉄道事業法では、赤字とならないことが大原則。

東京と大阪の地下鉄は、西欧・アメリカと比べて、営業キロは及ばないが乗車人数/kmは高い状況にある。鉄道、バス等の交通分担の在り方等、公共交通政策の違いが表れている。公共交通分担率の国際比較では、人口密度が高いほど、公共交通の機関分担率が高い状況にあり、日本の地方都市（人口50万人未満）の公共交通機関分担率は低く今後の課題である。

(3) これからの都市と人の交通

交通の基本的役割とは、「人間らしい生活」を支える交通サービスを提供すること。

○社会的孤立の状況

アジア的で伝統的な共同体意識が残っているとも見られる日本で、もっとも社会的孤立が高い。また、欧州的な社会意識の1つの典型をなすオランダで社会的孤立の指標は最も低い状況にある。

日本の社会的孤立度の高さの理由として、伝統的な社会の絆が戦後の社会発展の中で失われてきたが、新時代に順応したコミュニティが形成されていないこと、社交がなくとも生活に支障が生じない経済や社会が成立しているためとの見方がある。

○暮らしやすいまちに貢献する交通まちづくり

イメージを議論し、それを実現する施策の方向性を合わせ、失敗を繰り返しながらも、戦略的に粘り強く進めていくことが必要である。幸せへのカギは「居場所」×「新しい交通サービス」である。

- ・公共交通を軸とするコンパクトシティ（富山市）
- ・観光地と一体となった鉄道の再生（京都丹後鉄道）

【総評】

長期的な都市構造の変化も必要であるものの、中短期的には、移動支援サービスの提供が重要である。

歩いて暮らせるまちづくり、歩かなくても暮らせるためにも、おでかけ支援、移動販売、移動代替通信や宅配、ロボット活用等、新たな交通サービスに転化していく必要性を感じた。

■ 2月7日

□市長経験者が明かす！代表質問・一般質問の極意（10:00～13:00）

○一般質問のタイプ

出来レース型、批判追求型、要望アリバイ型、自己満足型、問題提起型、政策論争型が大きく分けてあるが、問題点を分析し、対案を示しながら行政の面会を資し、実現に導く「政策論争型」を目指すことが必要である。また、的を絞って、しつこく質問することも必要である。

○悪い質問

- ・調べればわかることを質問する。
- ・行政の取組の進捗と見解を聞くだけ
- ・具体的な解決策の提案がない
- ・行政批判に終始する。
- ・一方的な見解だけ述べて質問を終える

- ・財源の根拠もなく、要望する。
- ・与党的立場だからと何も批判しない。

○5つの着眼点

- ・「検討する」との答弁で終わらせない
- ・政策間の優先順位を資す
- ・財源の裏付けを資す
- ・他市の先進事例を参考にする場合、当市に合わせた取組を提案する
- ・予算がついて満足せず、実施過程と事後評価にもこだわる。

○議会がもつ議決権は重きものであり、市長は提案権と執行権を持つにすぎない。議会が予算を決める自覚を持つことが必要である。また、議決権を持つ以上、政策決定と実施結果に対する市民への説明責任が議会にこそ問われている。

議会の鋭い質問こそが、首長と職員に緊張感をもたらし、政策をより良いものに発展させる。

□市長経験者が明かす！予算審議のツボ（14:00～17:00）

○議会がもつ議決権の責任

・逗子市（平成28年）予算で、他市が値上げを進めているなか、これまで放置されていた国保料値上げに踏み切る条例改正が議会で否決された。

→結果、決算収支悪化し、7億円の経費削減対策を余儀なくされ、29年度緊急財政対策として、賃金カットや施策削減等を実施することとなった。

・西東京市において、令和2年度補正予算として、コロナ交付金で防災無線個別受信機予算（1万台分）を可決された。

→令和4年段階で実績は2100台、コロナ対策で若者支援などやるべき課題は他にも山積していた。議会チェックの甘さが問われてしまう問題である。

○財政難時代の予算作り、あらゆるリスクに備える

- ・予算と決算の推移をみる。
- ・長期財政見通しをチェックする。
- ・繰越金当初予算と決算剰余金
- ・財調の当初繰入と年度末積立

※厳しい財政のなかで、何に予算を重点配分するのか、今、取り組むべき課題は何か、なぜ、その事業に取り組むのか、その事業によって、どのようなまちを目指すのか、他に優先すべき重要課題はないのかといった視点で論ずることが必要である。

○財政に切り込め

・歳出増加策はあるか？歳出削減の具体策は？財調の妥当な水準は？経常収支比率をどこまで下げられるか？決算を踏まえ、歳入歳出は適正か？老朽化した施設の計画的整備は？
※行政は万能ではない。必ずどこかに問題があるとの意識のもと、予算特別委員会等で深掘することが求められている。

○自らの所信を語るべし

市民の代表として、まちの課題と自らの思いを語る事が重要である。

客観的かつ論理的な議論が真摯な答弁を引き出す。

問題を解決に導くための対案を示してこそ評価される。

【総評】

議員としての心構えを改めて振り返るきっかけにつながるセミナーであった。また、元市長の立場から、行政が望んでいる議会像、緊張感ある質問内容等、様々な話を聞くことができ、非常に有意義なセミナーでもあった。

市民の代表であり、議決権をもつ議員として、引き続き、その自覚をもって、自らの所信を語っていきたい。いずれにしても、政策をより良いものにするためにも、緊張感をもたらす議会が重要であり、そのためにも政策論争型の質問にこだわっていくことが重要である。

以 上

研究研修・調査報告書

会 派 名	新政クラブ	報 告 日	2023年2月10日
代 表 者	八杉 光乗 (印)	報 告 者	浜本 将矢 (印)
参 加 者			
	八杉光乗 宮地毅 浜本将矢 計3名		
実 施 日	2023年2月8日		
研究研修・調査等の場所	大阪科学技術館 大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4		
目 的	大阪科学技術館への視察		
<p>研究研修・調査等の概要</p> <p>□行政視察 《大阪科学技術館》【13時00分～15時00分】</p> <p>《概要》</p> <p>◆開 館：1963年 ※2023年に開館60周年</p> <p>◆展 示：科学技術、産業技術</p> <p>◆入館料：無料</p> <p>◆運 営：一般財団法人 大阪科学技術センター ※市の税金は入っていない。</p> <p>○入館者数は、2022年度で約28万人程度、コロナ前の2019年度は25万人程度であり、至近で徐々に回復してきている状況にある。団体見学者の内訳は、小学生が約5～6割程度を占めている。</p> <p>○入館料が無料のため、主な収入はテナント料や貸会場等、ビル資産を活かした財団活動を実施している。また、産業界から賛助会費（年会費10万円）を頂いており、現在350社が会員となっている。</p> <p>○8階建てのビルの内、1・2階が科学技術館となっている。近隣に大阪市立科学館があり、よく間違えられることもあるが、展示等のすみ分けは図れている。</p>			

大阪科学技術館は、企業等の協力を得て、科学技術・産業技術に特化した展示を実施しており、体験を重視しながら、小中高の団体見学をはじめ一般市民の方々を受け入れている。

○展示ブースには、各支援企業から提供されたブースがあり、2年単位でリニューアルしている。※基本的には各企業に場所を有料で貸し、展示物や主なメンテは展示企業で実施している。ブース運営には、場所代や更新代など多額な費用が必要であることから、大手企業が中心であり、ブースを埋めるための企業募集に苦慮しているとのこと。

○隣接する場所に公園があり、自然とふれあいも出来るため環境には恵まれている。

○今後、多言語化等も検討することとなるが、限られた予算をどのように使っていくか苦慮している。海外旅行者対応に注力するよりも、地元を中心とした子供たちにしっかり教育ができる体制づくりに注力していくことも考えられている。

《総評》

科学技術や産業技術の魅力を伝えることにこだわって運営されており、次世代の育成に重点を置いた施設となっている。

賛助企業と連携が深く、産業技術を活かしたブース作りになっており、各企業も次世代に伝えたいテーマを体験できるよう工夫されていた。

近隣にプラネタリウムやサイエンスに強みのある大阪市立科学館があり、役割分担のもと相乗効果につながっているとも感じた。いずれにしても、伝えたいことが分かる科学館であった。

福山市としても、現在、(仮称)こども未来館にむけ議論を進めているため、今後の参考としていきたい。

以上